

会 議 録

- 1 会議の名称：第1回妙高市総合計画審議会
- 2 開催日時：平成30年8月1日（木） 14時から14時50分まで
- 3 開催場所：新井総合コミュニティセンター 大広間
- 4 出席した者の氏名（敬称略・傍聴者を除く）

（委員 15人）

吉田昌幸、池田和資、安原義之、中嶋正文、古田芳久、桑原大、伊比政憲、塚田憲章、小栗康雄、
児玉久美子、小嶋久美子、飯吉悟、望月広伸、広島直人、小川夕子

（事務局 3人）

松岡企画政策課長、長谷川政策調整グループ係長、西山主事

- 5 議題・発言の内容（要旨）

- (1) 委嘱状交付
- (2) 市長あいさつ

【入村明市長】

日ごろより、市政の運営について、皆様から格別なるご協力をいただき、感謝申し上げます。また、このたびはご見識のある皆様方に、それぞれの立場で委員就任をお願いしたところ、皆様から快くお引き受けいただき、厚く御礼を申し上げます

平成17年4月に妙高市が誕生してから、早いもので13年が経過した。この間、第1次、第2次総合計画の中で与えられた職務を全うし、次の時代へ繋げるよう取り組んで来たところである。

時代が変革している中で、これからの第3次総合計画はもっと大事な時代になる。電子化が当たり前となり、第5次産業革命が訪れることは明白である。第3次総合計画は時代の先の先まで見据えたものとしたい。

活力が大幅に失われている。人口が減ったことが原因であるが、そこで社会的な人口増を市の柱にしていきたい。自然増減は人間がどうするというわけにはいかない。政策的にできるのは社会減をいかに減らし、社会増をどれだけ増やすか。このことによって地域の次の時代が明確に見えてくる。国も積極的に、東京から地方へ人口流出させることを骨太の方針としている。

それ以上に、仕事でふるさとを後にした、進学して戻ってこない子ども、そういう人たちを戻す社会をつくっていくことが社会増に一番効果的である。

一人住まい、一人世帯の時代が目の前まで来ている。どんどん変えていかなければいけない。これが次の計画の要である。とにかく変えなければいけない。既存の枠組みにとらわれない新たな施策にも挑戦していく。

委員の皆様におかれましては、当市の更なる発展のために、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

- (3) 委員自己紹介

委員名簿の順に委員自己紹介

- (4) 会長・副会長選出

会長に吉田昌幸委員、副会長に古田芳久委員を選出

(5) 妙高市総合計画の評価・策定について諮問

入村市長から吉田会長に策定を諮問

(6) 報告事項

①第2次総合計画・妙高版総合戦略の概要について

②第3次総合計画の策定概要・策定体制・策定評価スケジュールについて

資料1・2により事務局から一括説明。質疑・意見等なし。

③平成30年度まちづくり市民意識調査（市民向け）の結果について

資料3により事務局から説明。

<質疑・意見等>

委員：グラフの色を見やすく工夫してはどうか。

事務局：修正を検討したい。

(7) その他

事務局より、次回の会議日程について連絡。

6 会議資料の名称

- ・平成30年度 第1回妙高市総合計画審議会次第・第2次総合計画審議会名簿
- ・資料1：第2次総合計画・妙高版総合戦略の概要
- ・資料2：第3次総合計画の策定概要・策定体制・策定評価スケジュール
- ・資料3：平成30年度妙高市まちづくり市民意識調査結果報告書
- ・参考資料：妙高市総合計画審議会条例

上記に相違ないことを確認する。

平成30年8月7日

妙高市総合計画審議会
会長 吉田 昌幸

平成30年度 第1回妙高市総合計画審議会次第

日時：平成30年8月1日（水） 14時～14時50分

場所：新井総合コミュニティセンター 大広間

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員自己紹介
5. 会長・副会長選出
6. 妙高市総合計画の評価・策定について諮問
7. 報告事項
 - (1) 第2次総合計画・妙高版総合戦略の概要について【資料1】
 - (2) 第3次総合計画の策定概要・策定体制・策定評価スケジュールについて【資料2】
 - (3) 平成30年度まちづくり市民意識調査（市民向け）の結果について【資料3】
8. その他
9. 閉 会

第3次総合計画審議会 委員名簿

1、委員・アドバイザー

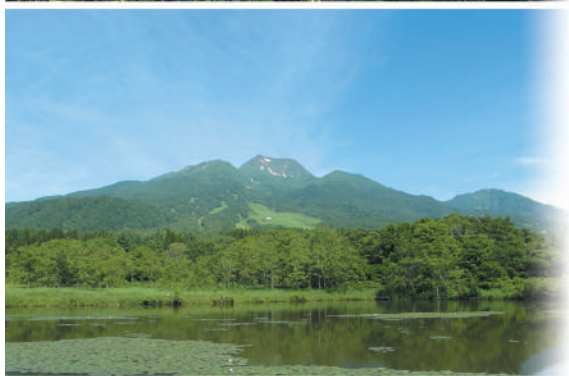
	種 別	氏 名	所 属 等
1	学識経験者 (教育)	吉田 昌幸	上越教育大学 准教授
2	関係機関 (産業)	池田 和資	新井商工会議所 副会頭
3	関係機関 (産業)	安原 義之	妙高市農業委員会 会長
4	関係機関 (産業)	中嶋 正文	(一社)妙高ツーリズムマネジメント 副会長
5	関係機関 (行政)	古田 芳久	上越地域振興局 企画振興部長
6	関係機関 (行政)	桑原 大	環境省 信越自然環境事務所 妙高高原自然保護官事務所 自然保護官
7	関係機関 (金融)	伊比 政憲	第四銀行新井支店 支店長
8	関係機関 (労働)	塚田 憲章	連合新潟上越地域協議会 頸南支部 事務局長
9	関係機関 (言論)	小栗 康雄	新井有線放送農業協同組合 業務課長
10	関係機関 (その他)	児玉 久美子	妙高子育て支援NPO法人ゆめきゃんぱす 代表理事
11	関係機関 (その他)	小嶋 久美子	妙高市教育委員会 委員
12	関係機関 (その他)	飯吉 悟	妙高市民生委員児童委員協議会 会長
13	市民 (市民)	望月 広伸	一般社団法人 妙高青年会議所 理事長
14	市民 (市民)	広島 直人	わかもの会議 会長
15	市民 (市民)	小川 タ子	わかもの会議 委員
	アドバイザー	朝比奈 一郎	妙高市地域活性化アドバイザー(青山社中(株) 筆頭代表)

2、事務局

		氏 名	所 属 等
1	事務局長	松岡 由三	企画政策課 課長
2		岡田 豊	企画政策課 課長補佐
3		長谷川 賢治	企画政策課 政策グループ 係長
4		西山 祐貴	企画政策課 政策グループ 主事

第2次

妙高市総合計画



妙高市
MYOKO CITY

概要版

2015～2019



計画策定の趣旨

少子高齢化や人口減少問題など、市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中において、市の目指すべき将来像を定め、その実現に向けて必要な施策を明らかにし、市民と行政が一体となって新たなまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、第2次妙高市総合計画を策定しました。

計画の期間

計画期間は、社会情勢の変化や多様なニーズに適切に対応していくため、平成27年度から平成31年度までの5年間の計画です。

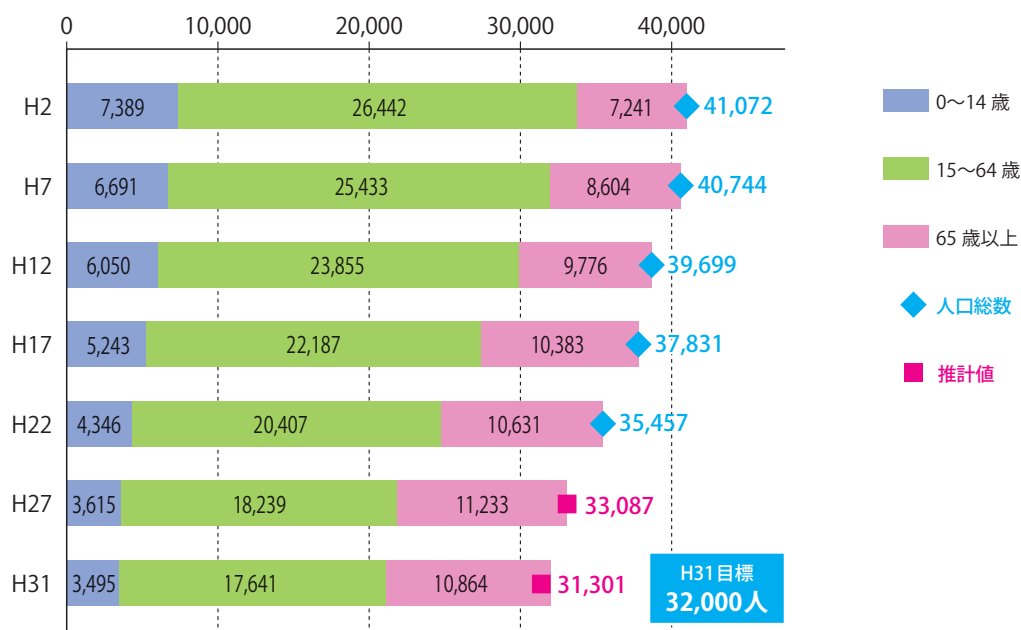


定住人口と交流人口の目標

人口推移からの将来の定住人口は、平成31年には、31,301人に減少することが見込まれますが、今後は、結婚から出産・子育ての切れ目のない支援や若者の雇用対策、移住・定住策の促進など、重点的に取り組むことにより、32,000人を目標とします。

また、交流人口は、重点プロジェクトに掲げる「新幹線・国立公園を活かした交流人口の拡大」を軸に取り組み、平成25年の596万人から約10%の増加を見込み660万人を目標とします。

人口の推移と将来推計



注)人口総数は年齢不詳を含む。年齢3区分別人口は年齢不詳を含まない

基本理念

生命地域の創造

人と自然のつながりを大切に、市民一人ひとりが新しい価値を創造し、真の豊かさを実感でき、安全に安心して、いつまでもこの妙高に住み続けたいと願い、そして住んでいることを誇りに思えるまち「生命地域創造都市 妙高」を目指し、「生命地域の創造」を基本理念とし、まちづくりに取り組むこととします。

将来像

人と自然にやさしい ふれあい交流都市 ～生命が輝く妙高～

人にやさしい まち

- ・毎日の生活が健やかに、安心して暮らせるまち
- ・子どもたちが夢を育み、健やかに成長できるまち

自然にやさしい まち

- ・美しい自然環境と人が共生する資源循環のまち
- ・緑豊かで美しい生活空間のあるまち

ふれあいの まち

- ・市民が自主、自立したまち
- ・共に助け合い育んでいくまち

交流の まち

- ・新たな産業の創造や交流により、多くの人が訪れるまち
- ・地域文化の継承と新たな文化を創造するまち

将来像実現のための基本方向

美しい自然と人が共生し、市民一人ひとりが互いを支えあい、やさしい心が通い合い、多くの人が訪れる個性と魅力にあふれるまちづくりを進めていきます。



エコツーリズム

豊かな自然環境や美しい景観の保全と活用を図るとともに、自然環境を活かした交流を推進します。



グリーンツーリズム

農山村地域の特色ある資源を活用した産業振興を図るとともに、自然や農林業、農村の暮らし体験など、地域資源を活かした交流を推進します。



ヘルスツーリズム

豊かな自然環境や温泉などの地域資源を活用した健康づくりを推進するとともに、健康保養地の魅力を活かした交流を推進します。



アート&カルチャーツーリズム

心の豊かさや新たな価値観を創出するため、市民の主体的な芸術文化活動を推進するとともに、魅力ある歴史・文化・スポーツ資源を活かした交流を推進します。

まちづくりの大綱

◆ まちづくりの大綱 ①

にぎわいと活気あふれる・生命地域

地域資源を活かした観光産業の活性化、地域経済の発展を支える農業や商工業など地域産業の振興を支援するとともに、移住、定住の推進に努め、交流と暮らしを支える基盤づくりを進めます。

1. 地域資源を活かした観光産業の振興
2. 魅力ある農林業の振興
3. 活力ある商工業等の振興
4. 交流と暮らしを支える基盤づくり



◆ まちづくりの大綱 ②

美しい自然と人が共生する・生命地域

「国立公園 妙高」の魅力を高め、自然環境を大切にすることを育み、環境負荷の少ないエネルギー利用や循環型社会の構築を進めるとともに、快適な暮らしの実現のため生活環境や都市環境の充実を図ります。

1. 自然環境との共生
2. 循環型社会の推進
3. 便利で快適な都市環境づくり



◆ まちづくりの大綱 ③

次代を担う子どもが輝く・生命地域

人口減少を克服するため、安心して子育てできる環境の充実を図るとともに、次代を担う子どもたちの豊かな人間性と社会でたくましく生きる力を育み、子どもたちの笑顔が輝くまちを目指して、子育て支援の充実と教育環境の整備を進めます。

1. 安心して子育てできる環境づくり
2. 豊かな人間性と生きる力を育む教育
3. 安心して学べる環境整備





◆まちづくりの大綱 ④

健やかで人にやさしい・生命地域

「総合健康都市 妙高」を推進し、住みなれた地域で心豊かに安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉サービスの充実を図るとともに、地域で支え合う福祉の仕組みづくりを進めます。

また、安全・安心な暮らしが送れるよう防災・防犯体制などの確保を図ります。

1. 保健と医療の充実
2. 高齢者・障がい者福祉の充実
3. 支え合いの地域社会づくり
4. 安全・安心な暮らしの確保



◆まちづくりの大綱 ⑤

豊かな心と文化を育む・生命地域

市民が生涯にわたって能力と個性を磨き、発揮できるよう学習機会の充実や気軽にスポーツできる環境を整えるとともに、豊かな心や感性、創造性を育むため、芸術文化の醸成を図ります。

1. 生涯学習・スポーツの充実
2. 創造性豊かな文化のまちづくり



◆まちづくりの大綱 ⑥

自立した地域を創る・生命地域

市民との協働により、地域の特性を活かし、自立した地域社会づくりを推進するとともに、行財政改革を推し進め、健全で効率的な行政運営の確立を図ります。

1. 市民協働のまちづくり
2. 効率的な行財政経営の確立



重点プロジェクト

市の将来像である「人と自然にやさしいふれあい交流都市」の実現に向け、計画期間内で特に重点的、戦略的に取り組むため5つの重点プロジェクトを設定しました。

1 人口減少対策の充実・強化

喫緊の課題である人口減少への対応として、結婚から出産、子育てまでの切れ目のない支援のほか、移住・定住や雇用確保対策の充実・強化に取り組みます。



2 新幹線・国立公園を活かした交流人口の拡大

新幹線開業や国立公園誕生を契機に、地域資源の磨き上げと受入体制やプロモーション（宣伝



活動)などの強化を図りながら、広域連携による交流人口の拡大を目指します。

3 総合健康都市 妙高の推進

生活習慣病予防や介護予防、認知症予防を目指し、健康保養地プログラムや歩こう妙高健康プログラムなどの充実を図り、健康寿命の延伸と医療費削減に取り組みます。



4 地域協働のまちづくりの推進

地域の主体的な課題解決への支援や自主防災組織・消防団の体制強化



などに取り組みます。また、多様な学習機会の提供や地域社会に貢献できる人づくり、「学びの循環システム」の構築を目指します。

5 未来を支える地域基盤の整備

地域発展の基盤となる社会インフラの整備をはじめ、農業・商業・工業・観光業などの地域産業の活性化を目指します。



第2次妙高市総合計画体系図

【基本理念】

生命地域の創造

【将来像】

人と自然にやさしい ふれあい交流都市

～生命が輝く妙高～

エコツーリズム グリーンツーリズム
ヘルスツーリズム アート&カルチャーツーリズム

【重点プロジェクト】

人口減少対策の充実・強化

新幹線・国立公園を活かした交流人口の拡大

総合健康都市 妙高の推進

地域協働のまちづくりの推進

未来を支える地域基盤の整備

【まちづくりの大綱】

にぎわいと活気あふれる
・生命地域

美しい自然と人が共生する
・生命地域

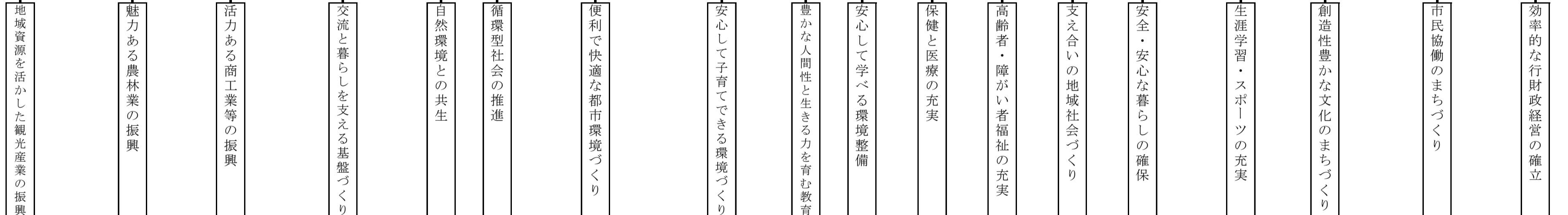
次代を担う子どもが輝く
・生命地域

健やかで人にやさしい
・生命地域

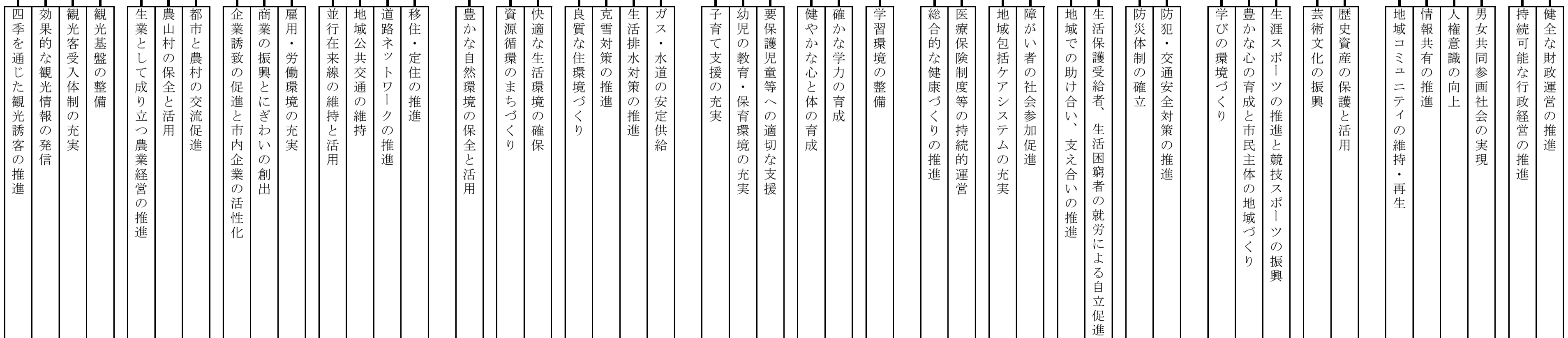
豊かな心と文化を育む
・生命地域

自立した地域を創る
・生命地域

【基本施策】



【主要施策】



「妙高人口ビジョン」と「生命地域創造都市 妙高版総合戦略」の全体像

妙高人口ビジョン

■人口の現状分析

【妙高市の人口は減少の一途】

- ・妙高市の人口は、1945年の6万473人をピークに減少
- ・2000年には4万人を割り込み、2010年(国勢調査)には、3万5,457人まで減少
- ・高齢化率は1955年に5.9%であったが、2010年(国勢調査)には、30.0%まで上昇
- ・合計特殊出生率は1987年に2.07であったが、2013年には、1.68まで減少
- ・未婚率・平均初婚年齢・出生年齢は年々上昇
- ・出生数が死亡数を下回る「自然減」がますます進行
- ・社会動態は、若者の進学、就職、結婚等により、転出超過
- ・「社会減」は首都圏のみならず県内、特に近隣地域へ流出
- ・産業構造も市の産業を牽引してきた製造業、建設業とも市内総生産はマイナス成長で、人口減少が地域経済の縮小に影響

【このまま推移すれば…】

- ・2060年には妙高市の人口は1万4,619人まで減少すると推計
- ・地域の衰退や地域経済の縮小はもとより、社会保障制度、公共施設等の社会ストック、コミュニティの維持等が困難になるなど

■人口の将来展望

【目指すべき将来の方向】

①人口減少の「負のスパイラル」に歯止めをかけるため、若者が住み続けられる「雇用」の確保を進める

- ・企業誘致、既存産業の振興を図り、質の高い雇用の確保が必要
- ・若者の雇用の創出、一定の所得水準の維持・向上が必要

②妙高市の自然資源(国立公園等)などの強みを活かした観光誘客や地方移住を促進し、妙高市への「人の流れ」をつくる

- ・妙高の自然資源は他地域との競争において強みとなる
- ・観光交流、農業、移住・定住においても自然資源を切り口とした発信等により、「人の流れ」をつくる取り組みを展開

③結婚をしたい人や、子どもを持ちたいと考える人の「希望をかなえる」社会づくりを進める

- ・結婚、出産において、意思はあるものの希望が実現できない人に対する支援等により、希望をかなえられる社会を目指す

④除雪や過疎など様々な地域課題を解決し、「安心な暮らし」を確保するとともに、「地域と地域」を連携する

- ・雪の処理を理由に市外に移住したいとするケースが多く、四季を通じた生活交通の確保等による安心・安全な地域づくりが必要
- ・若者の意見を反映した創造的な地域づくりが必要

【人口の将来展望】

【妙高市における将来目標】

(1)【自然動態】合計特殊出生率の改善

- ・2030年に国民希望出生数の「1.80」、2040年に人口置換水準の「2.07程度(2.10)」に改善

(2)【社会動態】主要な年齢層における転出超過傾向の縮減

- ・年齢別の純移動(流出)数の実績に基づく転出超過傾向を、流出等が顕著な年齢層を中心に半減

人口減少に歯止めをかけ、2060年に「2万人程度」の人口を維持

生命地域創造都市 妙高版総合戦略(2015年～2019年)

■基本的視点

① 県内や首都圏等への人口流出の是正と転入促進の推進

- ・若い世代を中心とした転出超過傾向に歯止めをかけるため、安心して働くことのできる「雇用」の確保や、移住定住の促進などによる「人の流れ」をつくり、「しごとの創生」と「ひとの創生」の好循環を実現していくことが必要

② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現

- ・結婚の希望の実現のためには、雇用の場を確保し安定的な経済基盤を得ることが必要であり、子育て支援のさらなる充実、強化やワーク・ライフ・バランスの推進等と併せて、若い世代が安心して就労し、希望通り結婚し、子育てができる社会経済環境の実現が必要

③ 妙高の特性を活かした地域課題の解決

- ・北陸新幹線開業や国立公園の誕生を契機に交流人口の拡大が必要
- ・今後進む人口減少と高齢化の中で地域協働のまちづくりを推進し、農業・商業・工業・観光業の連携強化により市内経済の循環を図り、地域課題の解決を図っていくことが必要

■基本目標、施策の基本的方向

【基本目標1】

妙高市における安定した雇用を創出します

- ・将来の担い手となり得る若者が本市に住み続け、また進学等で転出した場合であってもUターンを促進するため、若い世代の安定した雇用を生み出し、地域資源を活かした産業振興に取り組み、安心して働ける職場を創る。
- ・また、職種や雇用条件、生活環境の不適合などによる雇用のミスマッチや女性の就業機会の不足などを解消し、潜在的な労働力を地域の雇用につなげるため、就労支援や魅力ある職場づくり、労働環境の改善等に取り組み、正規雇用者等の割合の増加、女性の就業率の向上などを図る。

・産業振興による活力あるまちの創造

・若者が安心して働ける就労環境の充実

・次世代型の農林業の振興

・地域資源を活かした雇用の創出



【基本目標3】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます

- ・若い世代や子育て世帯の結婚・子育ての希望が実現するため、合計特殊出生率は、将来的には、人口置換水準である「2.07程度(2.10)」を目指し、少子化の流れに歯止めをかける。
- ・出会いから結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない包括的な支援や子育て環境のさらなる充実、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)などのより一層の推進に取り組み、妙高市の実情に即して、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる地域を目指す。

・出会い・結婚・子育てサポートの推進

・「妙高子育て」環境の充実

・特色ある「妙高教育」の推進

・男女共同参画の推進



【基本目標2】

妙高市への新しい人の流れをつくります

- ・潜在的移住希望者や首都圏等の高齢者が、全国の中から妙高を選び移住・定住が図られるように、「住みよいまち妙高」のアピールや、妙高暮らしに必要な情報提供を行うとともに、市外への人口流出に歯止めをかけるため、妙高市に住み、働き、豊かな自然に囲まれながら生活を送れるように、定住環境の充実を図る。
- ・北陸新幹線の開業や国立公園の誕生を契機とし、4つのツーリズムを活かした妙高への新しい人の流れづくりに取り組み、地域資源の魅力向上と受入体制等の強化による交流人口の拡大を図る。

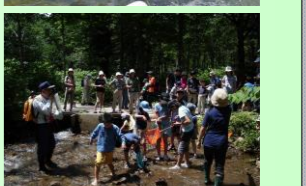
・「住みよいまち」妙高暮らしの推進

・国際観光都市「MYOKO」観光誘客の推進

・国立公園妙高の豊かな自然環境の保全と活用

・「総合健康都市 妙高」の推進

・体験型「都市と農村交流」の推進



【基本目標4】

時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携します

- ・未来を創る若者の志や挑戦する心を応援し、郷土への愛着や誇りを持つ心を醸成し、将来の妙高を担う人づくりを地域ぐるみで進める。
- ・雪対策、地域のこし(地域コミュニティの維持等)、生活交通等のネットワークづくりを推進し、人口減少と高齢化に伴う地域の変化に柔軟に対応できる、持続可能な地域社会を構築するとともに、近隣の自治体や、国内外の友好都市などとの広域連携を深め、交流を生み、より暮らしやすく、住み続けられるまちづくりを進める。

・志を未来に活かす人づくり

・心豊かで安心な地域コミュニティの推進

・未来を支える地域基盤の整備

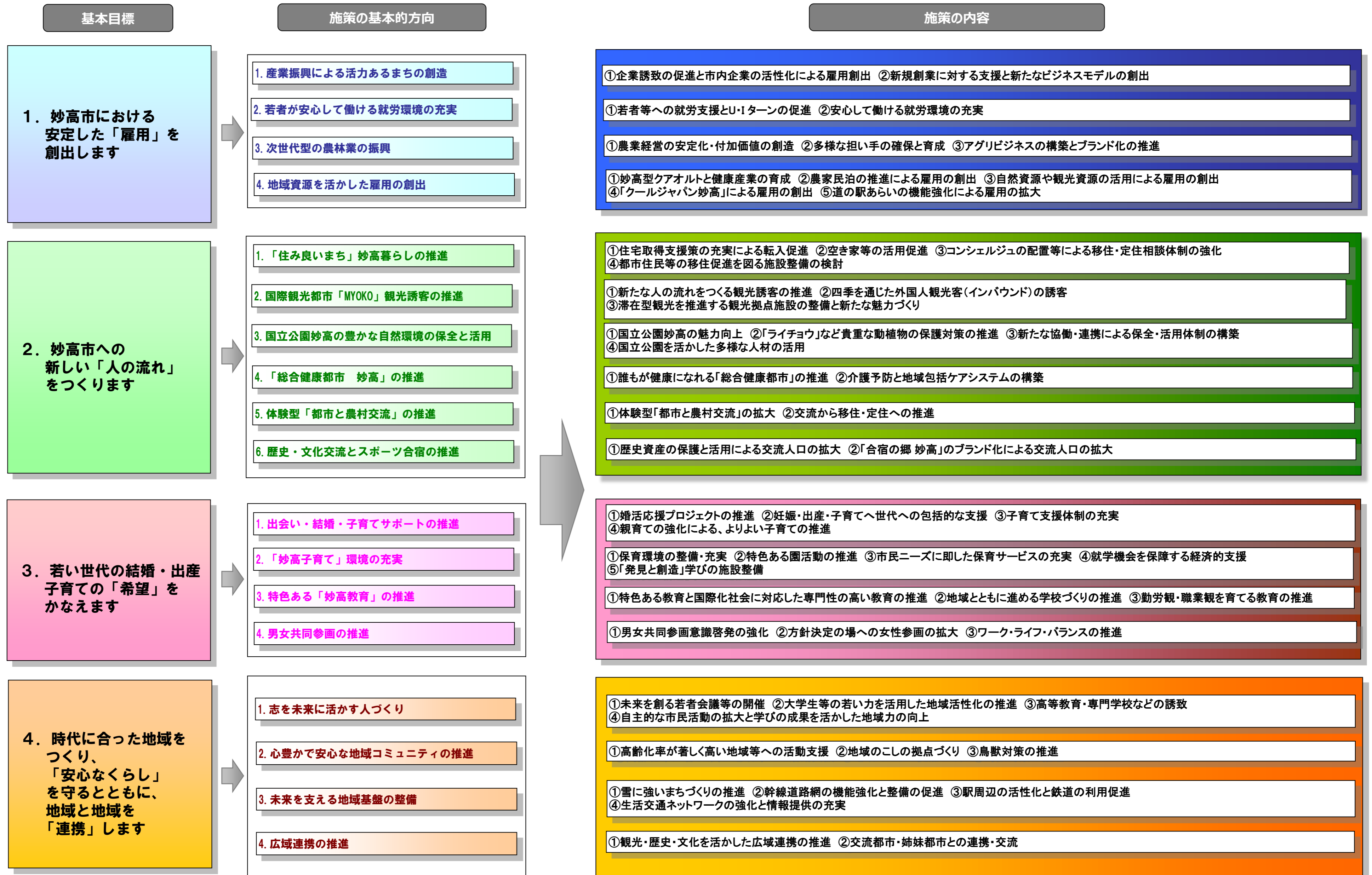
・広域連携の推進



まち好循環との実現

出生数の増加等による自然動態の改善、移住・定住人口の増加や転出抑制による社会動態の改善等
人口減少に歯止めをかけ、人口構造の若返りの実現を目指す

生命地域創造都市「妙高版総合戦略」の体系図



第 3 次妙高市総合計画の策定概要

1. 「第 3 次総合計画」の概要

① 計画年度（期間）

平成32年度～平成36年度（5年間） ※元号発表前のため平成と表記

時代の変化や多様な市民ニーズをより迅速かつ的確に捉えた計画とするとともに、総合戦略や各分野の個別計画との整合性に配慮し、計画期間は5年間とする。

② 計画の構成

「第3次妙高市総合計画」の計画中に、「妙高版総合戦略（第2版）」の要素を盛り込み、一体的な「第3次妙高市総合計画」として策定する。

2. 「総合計画」と「総合戦略」の策定・評価の体制について

「総合計画」及び「総合戦略」の策定・評価においては、市長の附属機関として、学識経験者や民間団体の代表者、市民代表などで構成する「総合計画審議会」に諮問・答申を行う。

なお、「総合戦略」の策定・評価に当たっては、国から「産官学金労言」の各界の企業・機関・団体が連携した構成とするよう枠組みが示されていることから、今後、次期総合計画を調査・審議する「総合計画審議会」についても、この委員構成に配慮する。

3. アドバイザーによる総合計画の策定と政策立案等に対する支援

今回の計画策定において、新たに、「総務省地域力創造アドバイザー制度」を活用し、総合計画の策定及び主要プロジェクトの導入等に対して、地域活性化アドバイザー（青山社中(株)の朝比奈一郎氏）から支援をいただく。

4. 庁内策定体制について

総合計画が市の最上位計画として機能するためには、全ての職員が総合計画に対する理解を深めることが重要であることから、全庁的な策定組織を設置し、検討を行う。

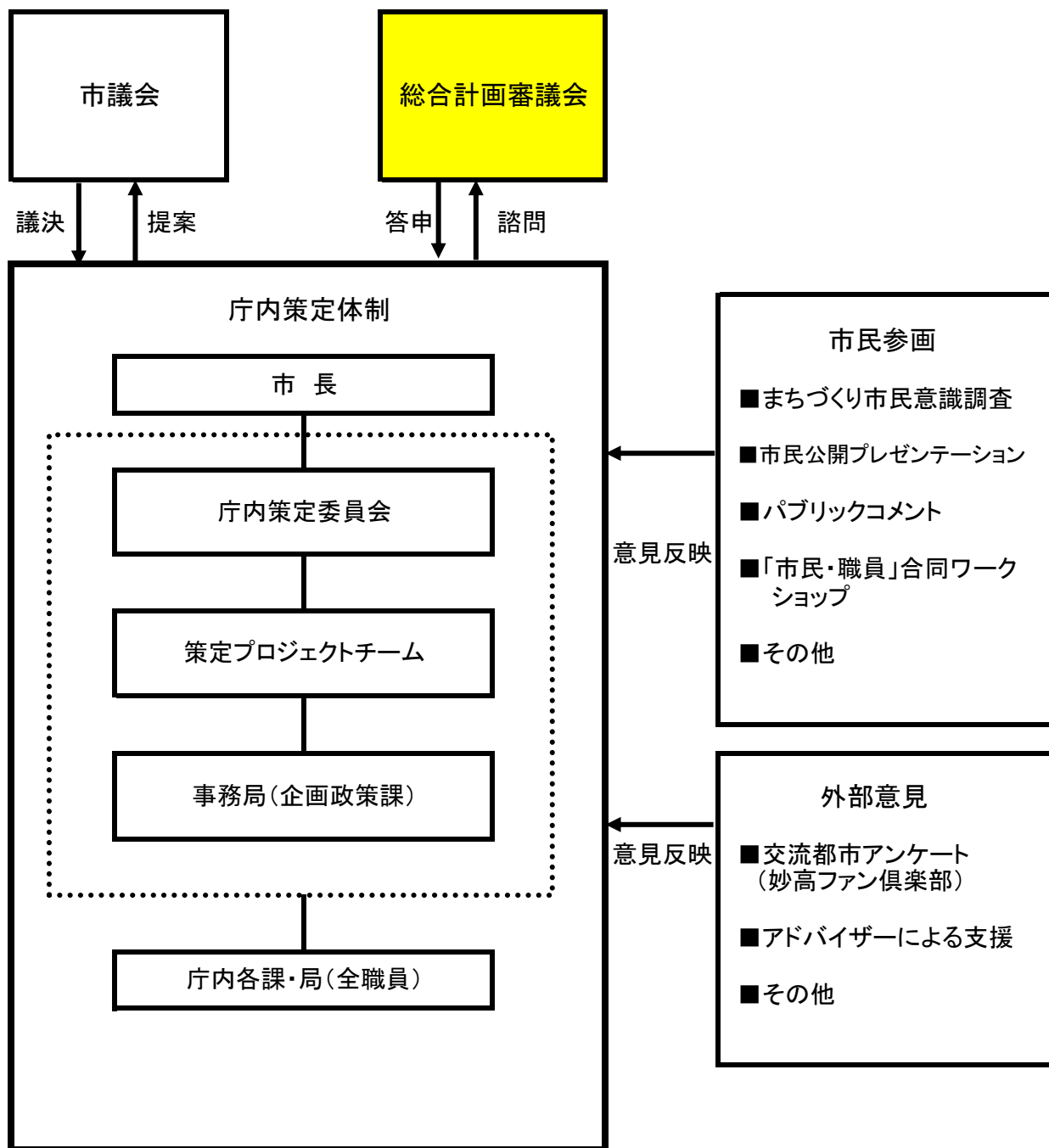
① 庁内策定委員会

- ・副市長を委員長として、教育長、各所属長で構成し、策定プロジェクトチーム及び各所管課（局）から提出された原案を検討し、総合計画審議会に示す計画案等を策定する。

② 策定プロジェクトチーム

- ・各課（局）の課長補佐及び担当係長の指名職員で構成し、市民等と合同で開催するワークショップと協働して、庁内策定委員会で検討する計画の素案を作成する。

第3次妙高市総合計画の策定体制



第3次妙高市総合計画策定基礎資料

平成30年度 妙高市まちづくり市民意識調査結果報告書

(市民向けアンケート調査の結果)



平成30年7月

新潟県妙高市

< 目 次 >

1. 調査の概要	3
2. 基本的属性等	4～8
(1) あなた自身のことをお伺いします (問1)	
性別、年齢.....	4
職業、居住年数.....	5
居住地域 (全体、地域別)	6
世帯構成、住まい.....	7
通勤・勤務先.....	8
3. 妙高市の魅力と住みよさ、幸福度について	8～18
(1) あなたは、どんなところに妙高市の魅力を感じていますか (問2)	8～11
①全体	
②クロス集計 (魅力×年代別)	
③クロス集計 (魅力×地域別)	
(2) 「自分のまち」として、妙高市に愛着がありますか (問3)	12～13
①全体	
②クロス集計 (愛着×年代別)	
③クロス集計 (愛着×地域別)	
(3) あなたにとって妙高市は住みやすいところだと思いますか (問4) ...	13～14
①全体	
②クロス集計 (住みやすさ×年代別)	
③クロス集計 (住みやすさ×地域別)	
(4) あなたは、今後も、妙高市に住み続けたいと思いますか (問5)	15～16
①全体	
②クロス集計 (定住意向×年代別)	
③クロス集計 (定住意向×地域別)	
(5) あなたが移り住みたいと考える理由は何ですか (問6)	16
(6) 市政全般について、どの程度満足していますか (問8)	17
(7) 幸福感についてあなたはどの程度幸せですか (問34)	17
(8) 自分の幸福感を判断する際に重視した「事項」は何ですか (問35)	18
4. 妙高市が目指すべき「将来像」のイメージについて	19～21
(1) どのような都市を目指したらよいと思いますか (問7)	19～21
①全体	
②クロス集計 (将来像×年代別)	
③クロス集計 (将来像×地域別)	

5. 妙高市の「まちづくりの満足度・重要度」について	22～35
(1) まちづくりの満足度について（主要施策別）	22～24
①主要施策別の満足度ランキング（上位）	
②主要施策別の満足度ランキング（下位）	
③クロス集計（主要施策（満足度）×年代別）	
④クロス集計（主要施策（満足度）×地域別）	
(2) まちづくりの満足度について（基本施策別）	25～26
①基本施策別の満足度の比較	
②基本施策別の満足度ランキング	
③クロス集計（基本施策（満足度）×年代別）	
④クロス集計（基本施策（満足度）×地域別）	
(3) 今後のまちづくりの重要度について（主要施策別）	27～29
①主要施策別の重要度ランキング（値1.00以上掲載）	
②クロス集計（主要施策（重要度）×年代別）	
③クロス集計（主要施策（重要度）×地域別）	
(4) 今後のまちづくりの重要度について（基本施策別）	30～31
①基本施策別の重要度の比較	
②基本施策別の重要度ランキング	
③クロス集計（基本施策（重要度）×年代別）	
④クロス集計（基本施策（重要度）×地域別）	
(5) 満足度と重要度の一覧表	32～33
①主要施策別	
②基本施策別	
(6) ポートフォリオ分析	34～35

《参考》

平成25年度 ポートフォリオ分析	36～37
------------------------	-------

1. 調査の概要

(1) 目的

第3次妙高市総合計画の策定に向けて、市政の満足度や重点を置くべき施策分野等を把握するため、まちづくり市民意識調査を実施する。

(2) 実施期間：平成30年4月4日（水）～4月30日（土）

(3) 調査内容

- ①調査対象：市内在住の15歳以上の市民1,000人（無作為抽出）
- ②調査方法：紙ベースによりアンケート用紙を送付し、郵送による回答
- ③調査項目
 - ・ 基本的属性等（性別、年齢、職業等）
 - ・ 市の「魅力」と「住みよさ」
 - ・ 市が目指すべき「将来像」
 - ・ 総合計画の施策別（細分類46項目）の満足度と重要度等
 - ・ その他（各課の取り組み等）

(4) 回答状況

- ・ 配付数：1,000人
- ・ 回答人数：404人
- ・ 回答率：40.40%

(5) その他

- ・ 集計表は、小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。

2、基本的属性等

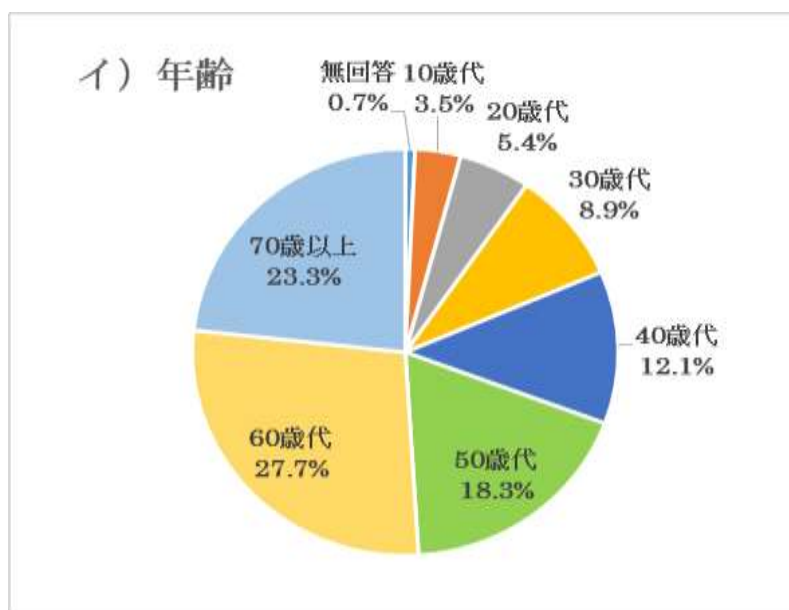
(1) あなた自身のことをお伺いします。(問1)

ア) 性別



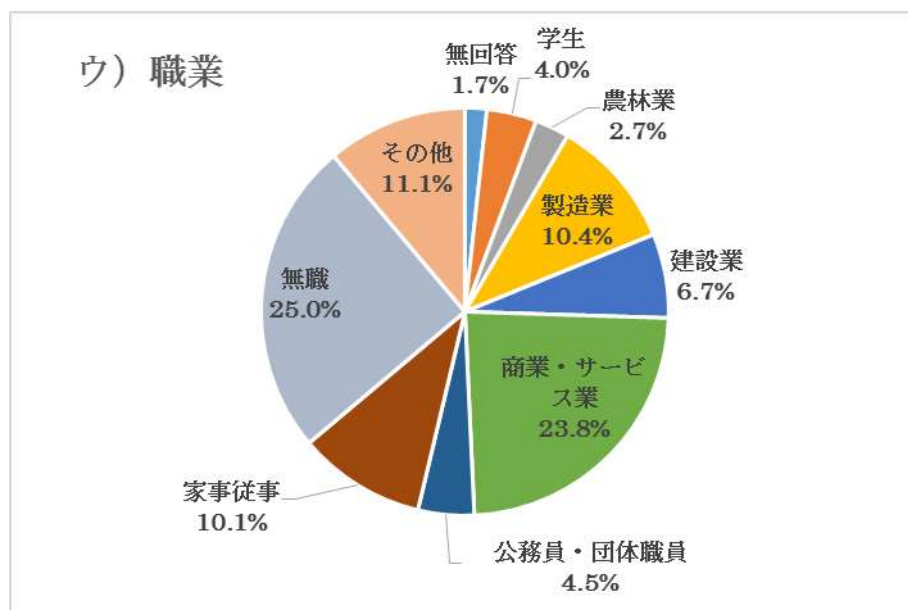
- ・「男性」が45.8%、「女性」が54.0%で「女性」の割合が高くなっている。

イ) 年齢



- ・年齢構成をみると「30歳代」が8.9%、「40歳代」が12.1%、「50歳代」が18.3%、「60歳代」が27.7%、「70歳以上」が23.3%となっており、60歳代・70歳以上の回答率が高くなっている。

ウ) 職業



- ・主な職業は「無職」が25.0%と最も割合が高く、次いで「商業・サービス業」が23.8%、「製造業」が10.4%の順となっている。

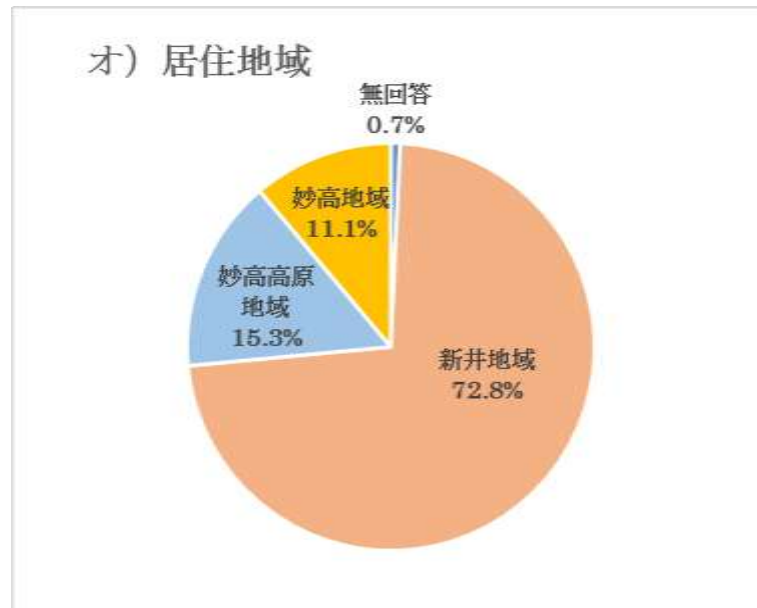
エ) 居住年数



- ・居住年数は「30年以上」が71.8%と最も割合が高く、次いで「20～29年」が11.6%、「10～19年」が9.4%の順となっている。

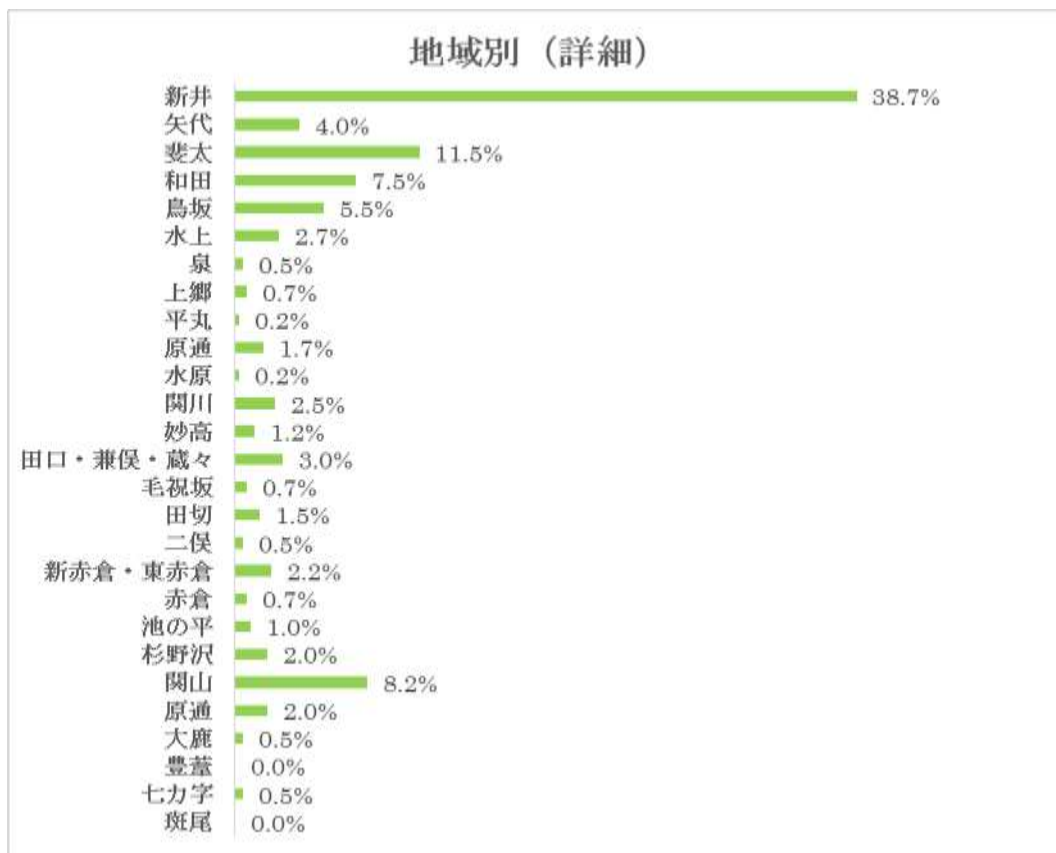
才) 居住地域

①全体



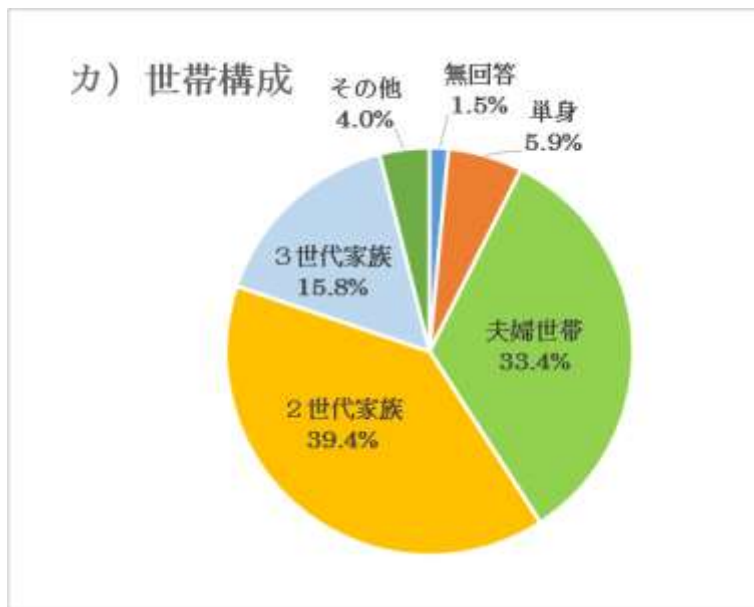
- ・居住地域は「新井地域」が72.8%、「妙高高原地域」が15.3%、「妙高地域」が11.1%となっている。

②地域別（詳細）



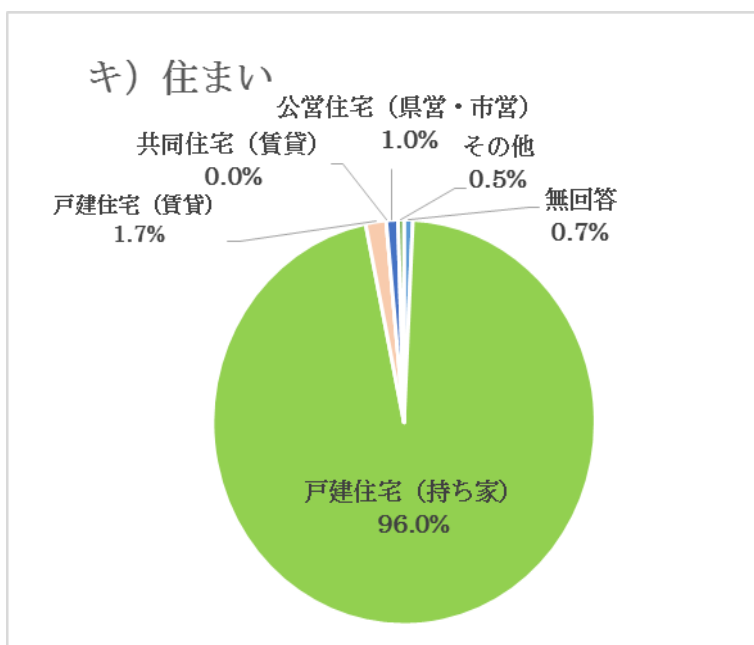
- ・地域別で回答率が高かったのは、新井地域では「新井」が38.7%、妙高高原地域では「田口」が3.0%、妙高地域では「関山」が8.2%となっている。

カ) 世帯構成



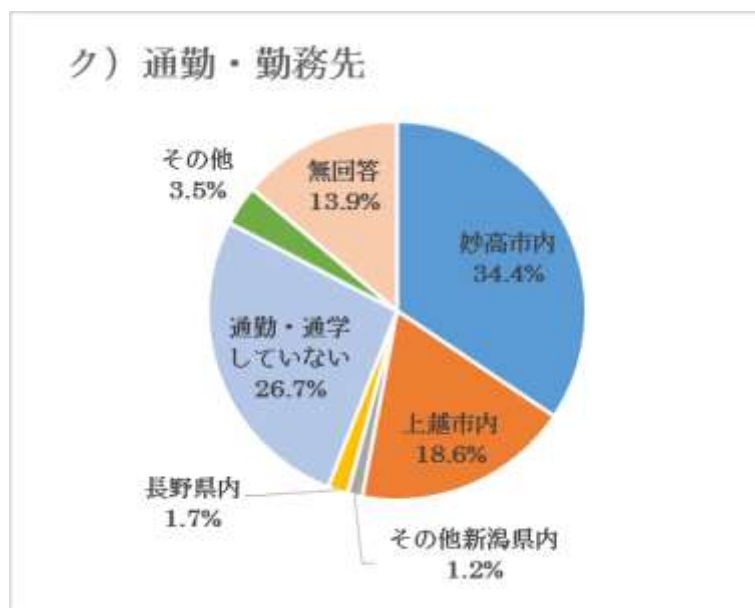
- ・世帯構成は「2世代家族」が39.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦世帯」が33.4%、「3世代家族」が15.8%の順となっている。

キ) 住まい



- ・住まいは「戸建住宅 (持ち家)」が96.0%と最も割合が高く、次いで「戸建住宅 (賃貸)」が1.7%の順となっている。

ク) 通勤・勤務先



・通勤・勤務先は「妙高市内」が34.4%と最も割合が高く、次いで、「通勤・通学していない」が26.7%、「上越市内」が18.6%の順となっている。

3. 妙高市の「魅力」と「住みよさ」などについてお伺いします。

(1) あなたは、どんなところに妙高市の魅力を感じていますか。(問2)

①全体



《回答数のランキング》

順位	回答項目	回答数	回答率
1	妙高山などの雄大な眺望景観がある	287	14.0%
2	緑、水などの自然環境が豊かである	271	13.2%
3	四季の移ろいがある	266	13.0%
4	山の幸や農産物に恵まれて食が豊か	225	11.0%
5	災害や犯罪が少ない	197	9.6%
6	心地よく暮らせる居住空間がある	120	5.8%
7	公害やゴミがなく、まちが清潔	99	4.8%
8	子どもを育てやすい環境が整っている	79	3.8%
9	歴史や伝統がある	75	3.7%
10	買い物が便利	66	3.2%
11	市民同士で心の通うつきあいがある	49	2.4%
12	交通の便がよい	45	2.2%
12	道路や公園など生活基盤が整っている	45	2.2%
14	福祉・医療の施設やサービスが整っている	41	2.0%
14	老後も安心して暮らせる	41	2.0%
16	観光客が楽しめる所が多い	28	1.4%
17	文化施設や文化的な催しがある	27	1.3%
18	娯楽やレジャーを楽しむ環境がある	26	1.3%
19	特に魅力を感じない	25	1.2%
20	行政サービスが充実している	23	1.1%
21	市民の声が活かされている	10	0.5%
22	働く場が整っている	4	0.2%

- ・市の魅力についての上位は、「妙高山などの雄大な眺望景観がある」が最も多く、次いで「緑、水などの自然環境が豊かである」、「四季の移ろいがある」の順となっている。
- ・下位については、「働く場が整っている」が最も少なく、次いで「市民の声が活かされている」、「行政サービスが充実している」の順となっている。

②クロス集計（魅力×年代別）

■「魅力」と「年代」別とのクロス集計結果（順位）

回答項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
子どもを育てやすい環境が整っている	10	7	6	8	9	9	11
公害やゴミがなく、まちが清潔	7	8	8	7	6	8	6
災害や犯罪が少ない	2	6	7	4	5	5	5
買い物が便利	15	9	11	9	11	11	8
交通の便がよい	15	13	9	13	13	14	11
福祉・医療の施設やサービスが整っている	11	13	21	15	16	11	10
老後も安心して暮らせる	11	13	18	15	14	14	9
心地よく暮らせる居住空間がある	6	5	4	6	6	6	7
道路や公園など生活基盤が整っている	11	9	11	10	11	19	15
妙高山などの雄大な眺望景観がある	3	4	1	1	1	1	2
緑、水などの自然環境が豊かである	3	1	2	1	2	3	4
四季の移ろいがある	1	2	3	3	3	2	1
歴史や伝統がある	7	13	9	10	8	7	14
文化施設や文化的な催しがある	15	17	13	17	16	18	16
娯楽やレジャーを楽しむ環境がある	11	12	18	13	19	14	19
市民同士で心の通うつきあいがある	15	17	13	12	16	9	11
働く場が整っている	15	17	21	22	19	22	22
山の幸や農産物に恵まれて食が豊か	3	3	4	5	4	4	2
観光客が楽しめる所が多い	15	17	13	17	14	13	18
市民の声が活かされている	15	17	17	19	21	21	21
行政サービスが充実している	15	17	18	19	21	14	16
特に魅力を感じない	7	9	13	19	10	20	20

- ・年代別にみると「妙高山などの雄大な眺望景観がある」が30歳代から60歳代の間で1位となっており、そのほかの年代でも高い順位となっている。また「緑、水などの自然環境が豊かである」、「四季の移ろいがある」についても全ての年代で高い順位となっている。
- ・全ての年代において、「山の幸や農産物に恵まれて食が豊か」、「心地よく暮らせる居住空間がある」の順位が高くなっている。また10歳代では「災害や犯罪が少ない」の順位が高くなっている。
- ・下位をみると「働く場が整っている」、「市民の声が活かされている」、「行政サービスが充実している」が全ての年代で低くなっている。
- ・30歳代では「福祉・医療の施設やサービスが整っている」の順位が低くなっている一方で、60歳代、70歳以上では高くなっている。

③クロス集計（魅力×地域別）

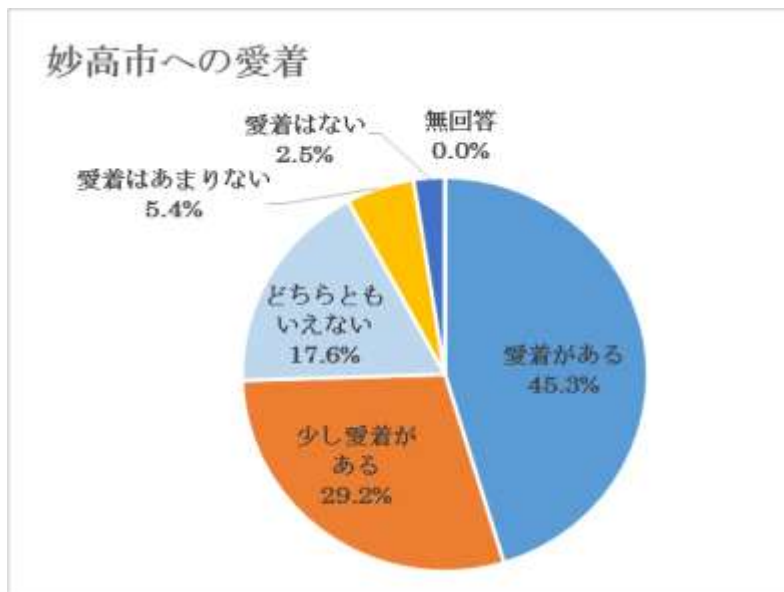
■「魅力」と「地域」別とのクロス集計結果（順位）

回答項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
子どもを育てやすい環境が整っている	8	12	8
公害やゴミがなく、まちが清潔	7	6	8
災害や犯罪が少ない	5	4	5
買い物が便利	9	17	13
交通の便がよい	12	14	15
福祉・医療の施設やサービスが整っている	15	10	12
老後も安心して暮らせる	13	17	13
心地よく暮らせる居住空間がある	6	7	6
道路や公園など生活基盤が整っている	11	14	17
妙高山などの雄大な眺望景観がある	1	1	1
緑、水などの自然環境が豊かである	2	3	2
四季の移ろいがある	3	2	2
歴史や伝統がある	10	8	6
文化施設や文化的な催しがある	16	17	15
娯楽やレジャーを楽しむ環境がある	19	12	17
市民同士で心の通うつきあいがある	14	8	10
働く場が整っている	22	22	21
山の幸や農産物に恵まれて食が豊か	4	5	4
観光客が楽しめる所が多い	20	10	11
市民の声が活かされている	21	21	21
行政サービスが充実している	18	16	20
特に魅力を感じない	17	20	17

- ・地域別にみると「妙高山などの雄大な眺望景観がある」が全ての地域で1位となっており、「緑、水などの自然環境が豊かである」、「四季の移ろいがある」についても高い順位となっている。
- ・新井地域では「観光客が楽しめる所が多い」の順位が低い一方で、妙高高原地域、妙高地域では高くなっている。
- ・下位をみると「働く場が整っている」、「市民の声が活かされている」、「行政サービスが充実している」が全ての地域で低くなっている。

(2)「自分のまち」として、妙高市に愛着がありますか。(問3)

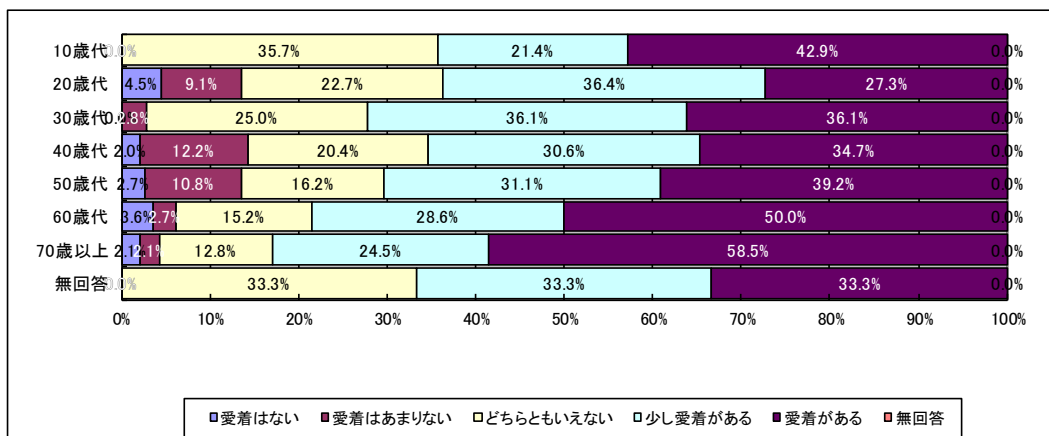
①全体



・妙高市への愛着については、市全体でみると、「愛着がある」が45.3%で、「愛着はない」が2.5%となっている。

②クロス集計 (愛着×年代別)

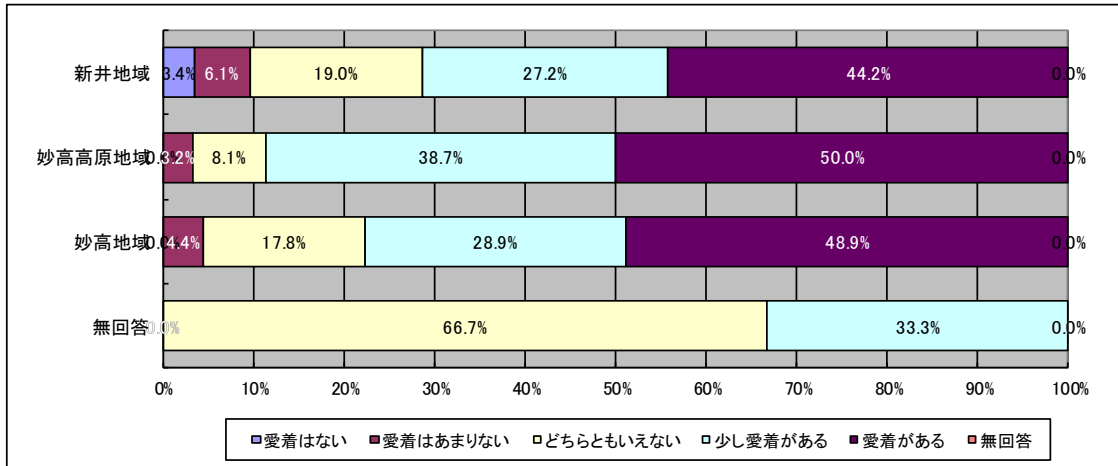
■「愛着」と「年代別」とのクロス集計結果



・年代別にみると「愛着がある」と答えた割合が一番高かった年代は、「70歳以上」で58.5%となっており、「愛着はない」と答えた割合が一番高かった年代は「20歳代」で4.5%となっている。

③クロス集計（愛着×地域別）

■「愛着」と「地域」別とのクロス集計結果

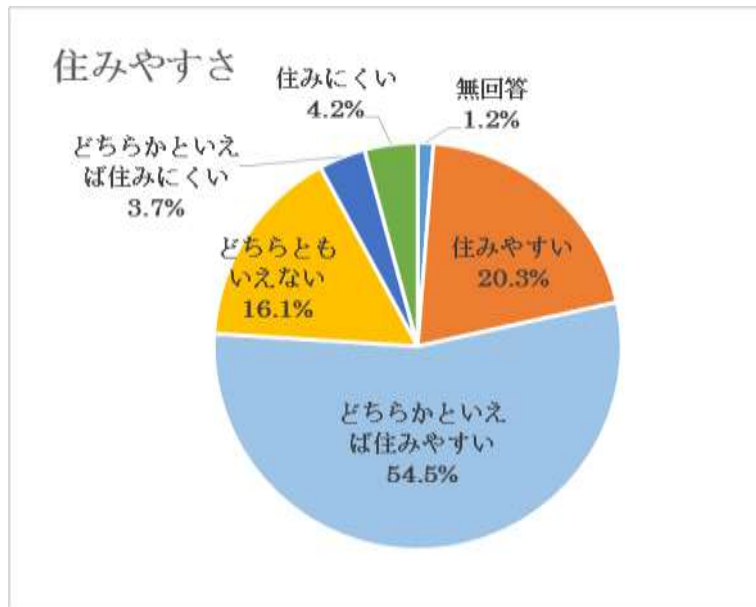


	愛着はない	愛着はあまりない	どちらともいえない	少し愛着がある	愛着がある	無回答	総数
新井地域	3.4%	6.1%	19.0%	27.2%	44.2%	0.0%	100.0%
妙高高原地域	0.0%	3.2%	8.1%	38.7%	50.0%	0.0%	100.0%
妙高地域	0.0%	4.4%	17.8%	28.9%	48.9%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・地域別にみると「愛着がある」と答えた割合が一番高かった地域は「妙高高原地域」で、50.0%となっており、「愛着はない」と答えた割合が一番高かった地域が、「新井地域」で3.4%となっている。

(3) あなたにとって妙高市は住みやすいところだと思いますか。(問4)

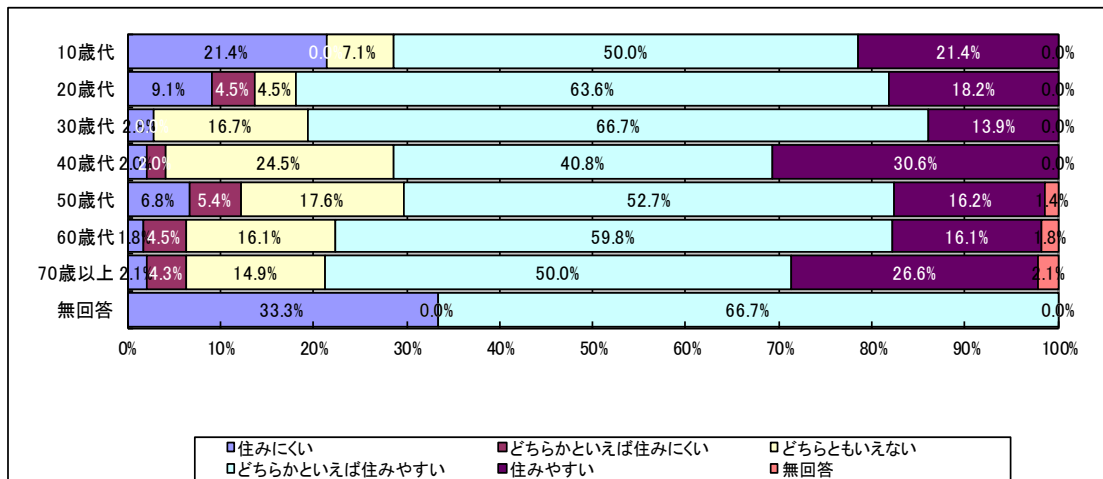
①全体



- ・住みやすさについては、市全体でみると、「住みやすい」が20.3%となっており、「住みにくい」が、4.2%となっている。

②クロス集計（住みやすさ×年代別）

■「住みやすさ」と「年代別」とのクロス集計結果

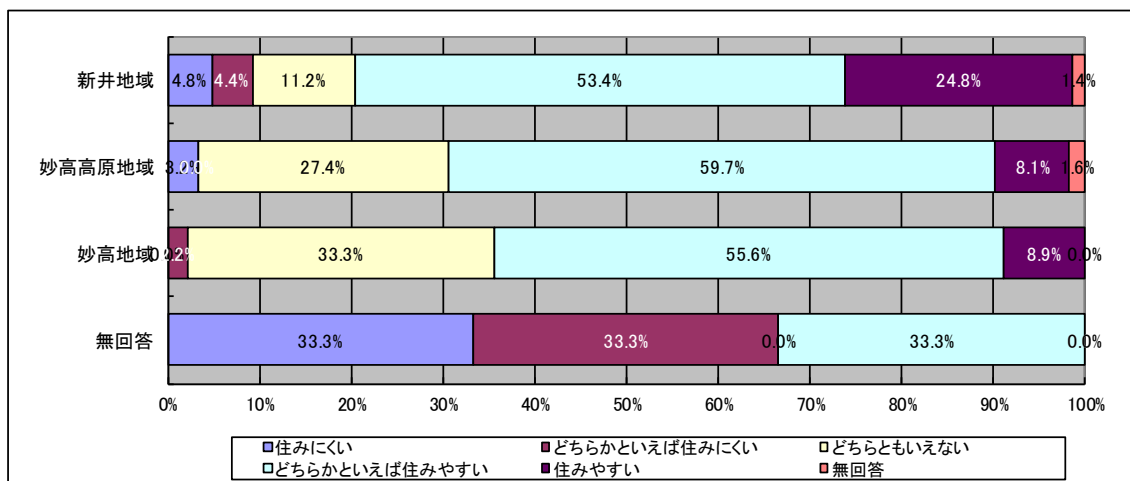


	住みにくい	どちらかといえば住みにくい	どちらともいえない	どちらかといえば住みやすい	住みやすい	無回答	総数
10歳代	21.4%	0.0%	7.1%	50.0%	21.4%	0.0%	100.0%
20歳代	9.1%	4.5%	4.5%	63.6%	18.2%	0.0%	100.0%
30歳代	2.8%	0.0%	16.7%	66.7%	13.9%	0.0%	100.0%
40歳代	2.0%	2.0%	24.5%	40.8%	30.6%	0.0%	100.0%
50歳代	6.8%	5.4%	17.6%	52.7%	16.2%	1.4%	100.0%
60歳代	1.8%	4.5%	16.1%	59.8%	16.1%	1.8%	100.0%
70歳以上	2.1%	4.3%	14.9%	50.0%	26.6%	2.1%	100.0%
無回答	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・年代別にみると「住みやすい」と答えた割合が一番高かった年代は「40歳代」で30.6%となっており、「住みにくい」と答えた割合が一番高かった年代が「10歳代」で21.4%となっている。

③クロス集計（住みやすさ×地域別）

■「住みやすさ」と「地域」別とのクロス集計結果

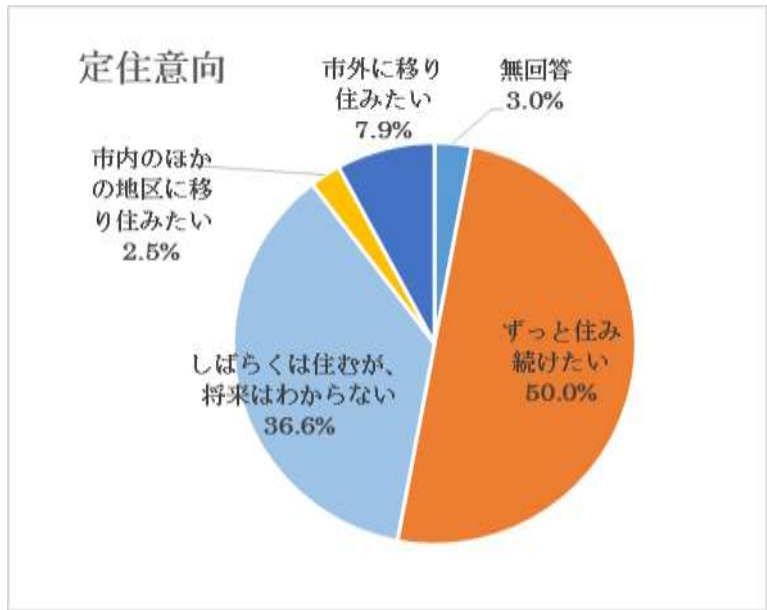


	住みにくい	どちらかといえば住みにくい	どちらともいえない	どちらかといえば住みやすい	住みやすい	無回答	総数
新井地域	4.8%	4.4%	11.2%	53.4%	24.8%	1.4%	100.0%
妙高高原地域	3.2%	0.0%	27.4%	59.7%	8.1%	1.6%	100.0%
妙高地域	0.0%	2.2%	33.3%	55.6%	8.9%	0.0%	100.0%
無回答	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%

- ・地域別にみると、「住みやすい」と答えた割合が一番高かった地域は「新井地域」で24.8%となっており、「住みにくい」と答えた割合が一番高かった地域は「新井地域」で4.8%となっている。

(4) あなたは、今後も、妙高市に住み続けたいと思いますか。(問5)

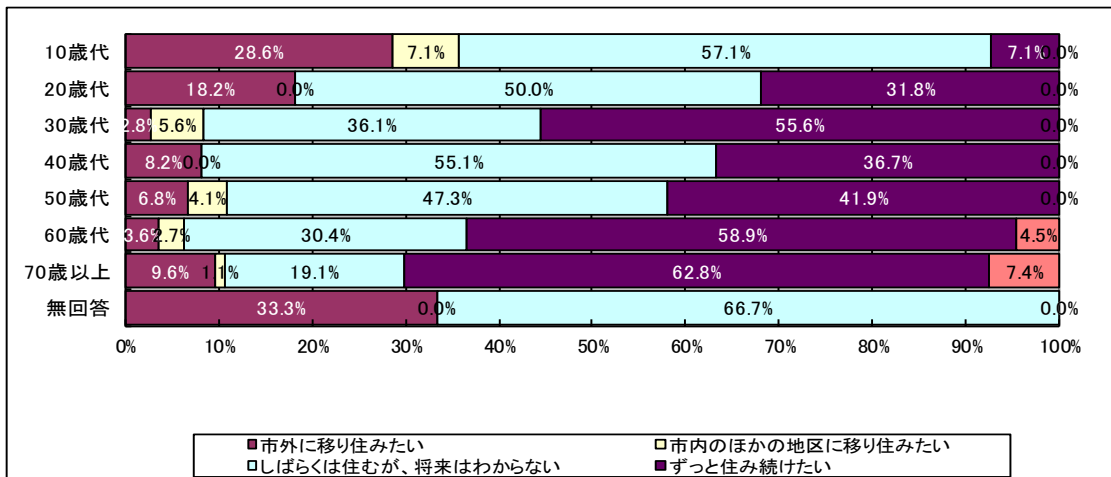
①全体



・定住意向については、市全体でみると「ずっと住み続けたい」が50.0%で、「市外に移り住みたい」が7.9%となっている。

②クロス集計 (定住意向×年代別)

■「今後も住み続けたいか」と「年代」別とのクロス集計結果

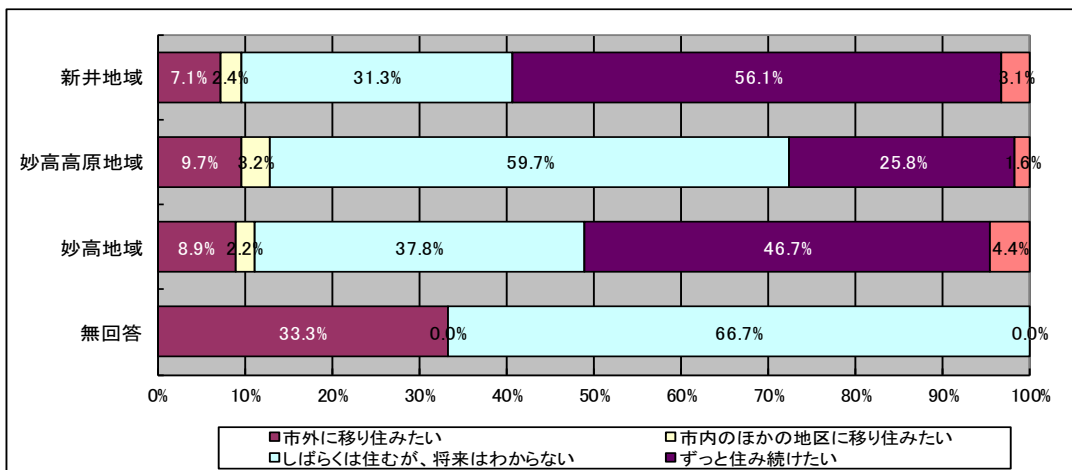


	市外に移り住みたい	市内のほかの地区に移り住みたい	しばらくは住むが、将来はわからない	ずっと住み続けたい	無回答	総数
10歳代	28.6%	7.1%	57.1%	7.1%	0.0%	100.0%
20歳代	18.2%	0.0%	50.0%	31.8%	0.0%	100.0%
30歳代	2.8%	5.6%	36.1%	55.6%	0.0%	100.0%
40歳代	8.2%	0.0%	55.1%	36.7%	0.0%	100.0%
50歳代	6.8%	4.1%	47.3%	41.9%	0.0%	100.0%
60歳代	3.6%	2.7%	30.4%	58.9%	4.5%	100.0%
70歳以上	9.6%	1.1%	19.1%	62.8%	7.4%	100.0%
無回答	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

・年代別にみると、「ずっと住み続けたい」と答えた割合が一番高かった年代は「70歳以上」で、62.8%となっており、「市外に移り住みたい」と答えた割合が一番高かった年代は「10歳代」で28.6%となっている。

③クロス集計（定住意向×地域別）

■「今後も住み続けたいか」と「地域」別とのクロス集計結果



	市外に移り住みたい	市内のほかの地区に移り住みたい	しばらくは住むが、将来はわからない	ずっと住み続けたい	無回答	総数
新井地域	7.1%	2.4%	31.3%	56.1%	3.1%	100.0%
妙高高原地域	9.7%	3.2%	59.7%	25.8%	1.6%	100.0%
妙高地域	8.9%	2.2%	37.8%	46.7%	4.4%	100.0%
無回答	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

・地域別にみると、「ずっと住み続けたい」と答えた割合が一番高かった地域は「新井地域」で56.1%となっており、「市外に移り住みたい」と答えた割合が一番高かった地域は「妙高高原地域」で9.7%となっている。

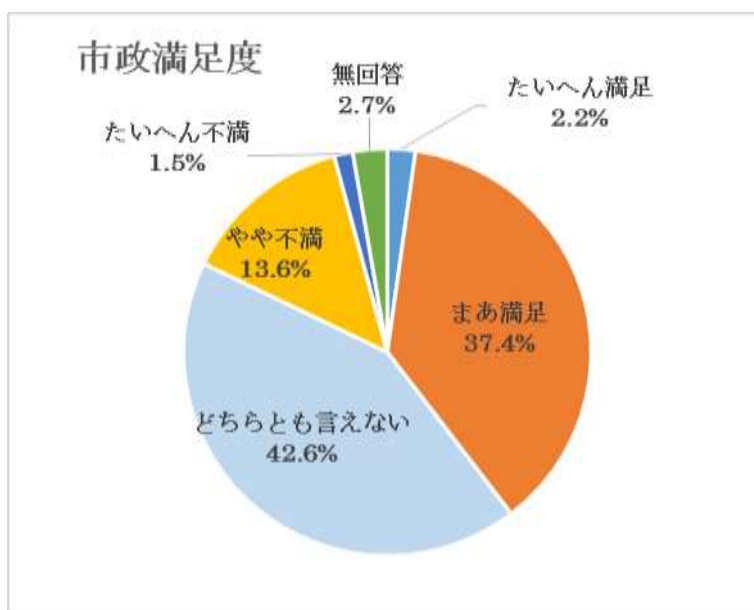
(5) あなたが移り住みたいと考える理由は何ですか。(問6)

※この質問は、(4)で「市外又は市内に移り住みたい」を選んだ方のみ回答。



・移住したい理由は、「雪の処理が大変」が最も多く、次いで、「交通が不便」、「買い物がしにくい」の順となっている。

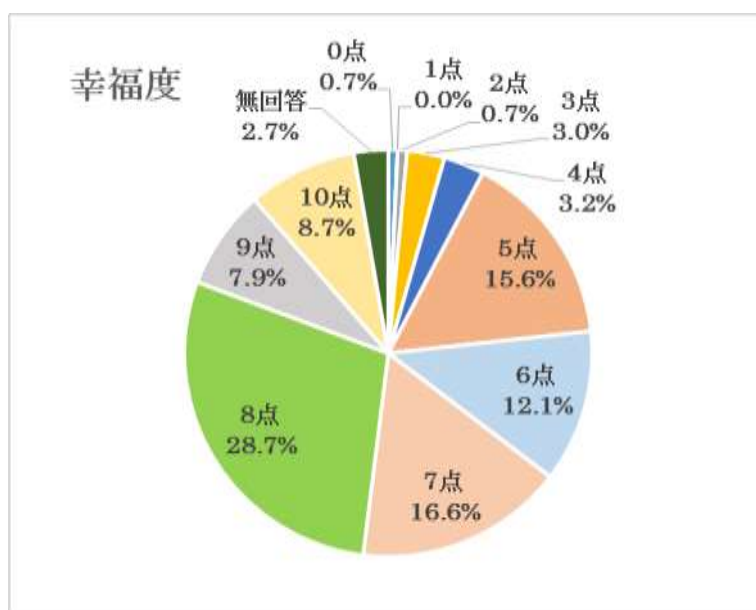
(6) 市政全般について、どの程度満足していますか (問8)



- ・ 市政全般の満足度については「たいへん満足・まあ満足」が合計で39.6%、「たいへん不満・やや不満」が合計で15.1%となっている。

(7) あなた自身の幸福感について、あなたはどの程度幸せですか。(問34)

※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として回答



- ・ 幸福度は「8点」が最も多く、次いで、「7点」、「5点」、「6点」、「10点」の順となっている。

(8) 幸福感を判断する際に重視した「事項」は何ですか。(問35)

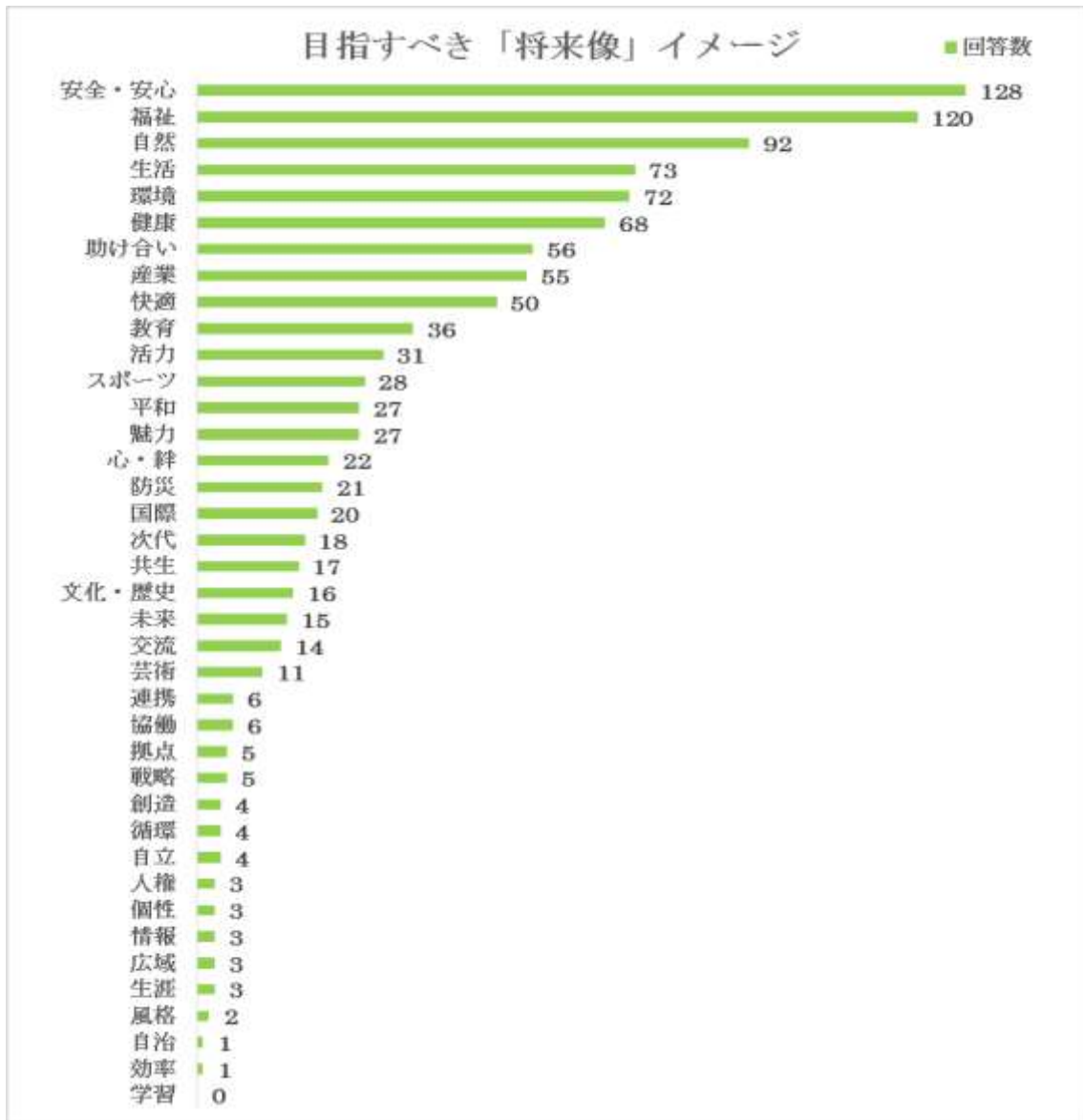


- ・ 幸福度の判断事項は、「健康状況」が最も多く、次いで、「家族関係」、「家計状況」、「自由な時間」、「精神的なゆとり」の順となっている。

4. 妙高市が目指すべき「将来像」のイメージについてお伺いします。

(1) どのような都市を目指したらよいと思いますか。(問7)

①全体



《回答数のランキング》

順位	回答項目	回答数	順位	回答項目	回答数	順位	回答項目	回答数	順位	回答項目	回答数
1	安全・安心	128	11	活力	31	21	未来	15	31	人権	3
2	福祉	120	12	スポーツ	28	22	交流	14	31	個性	3
3	自然	92	13	平和	27	23	芸術	11	31	情報	3
4	生活	73	13	魅力	27	24	連携	6	31	広域	3
5	環境	72	15	心・絆	22	24	協働	6	31	生涯	3
6	健康	68	16	防災	21	26	拠点	5	36	風格	2
7	助け合い	56	17	国際	20	26	戦略	5	37	自治	1
8	産業	55	18	次代	18	28	創造	4	37	効率	1
9	快適	50	19	共生	17	28	循環	4	39	学習	0
10	教育	36	20	文化・歴史	16	28	自立	4			

・将来像のイメージについては、「安全・安心」が最も多く、次いで「福祉」、「自然」、「生活」、「環境」の順となっている。

②クロス集計（将来像×年代別）

■「将来像」と「年代」別のクロス集計結果（順位）

回答項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
国際	3	13	7	16	12	25	23
文化・歴史	15	13	14	21	16	15	20
芸術	15	25	24	16	19	21	20
交流	15	13	14	16	22	22	12
環境	5	13	10	2	4	5	5
平和	5	13	10	13	13	17	9
風格	15	25	24	29	25	30	32
安全・安心	2	3	2	2	2	2	1
快適	3	1	3	4	13	9	16
活力	15	13	10	6	8	11	16
健康	15	7	7	6	6	8	3
福祉	15	1	4	4	2	1	2
創造	15	13	24	29	31	30	23
産業	5	3	7	8	8	6	8
循環	15	25	24	29	22	30	23
拠点	15	13	20	21	25	36	32
生活	5	3	4	8	5	4	7
人権	15	25	24	29	31	25	23
自治	15	25	24	21	31	36	32
自立	15	25	24	29	25	25	23
自然	1	10	6	1	1	3	4
個性	15	25	24	29	25	30	32
情報	15	25	24	29	25	30	23
防災	15	7	24	15	19	11	12
教育	9	13	1	12	13	10	16
学習	15	25	24	29	31	36	32
広域	15	25	24	29	31	25	23
助け合い	15	6	14	8	7	7	6
心・絆	9	13	14	13	16	17	10
共生	15	25	20	16	19	11	20
次代	9	10	20	21	16	17	12
戦略	15	25	14	21	31	30	23
連携	15	25	24	29	25	17	32
未来	15	10	14	16	22	22	12
協働	9	25	24	21	31	22	23
生涯	15	13	24	29	31	25	32
スポーツ	9	7	20	11	8	15	16
効率	15	25	24	21	31	36	32
魅力	9	13	10	21	8	14	10

- ・年代別にみると「安全・安心」が全ての年代で高い順位となっている。また「福祉」、「健康」は10歳代以外の年代で高い順位となっている。
- ・「自然」、「生活」、「環境」は全ての年代において順位が高くなっている。また30歳代では「教育」の順位が高くなっている。
- ・下位をみると「学習」、「効率」、「自治」が全ての年代で低くなっている。

③クロス集計（将来像×地域別）

■「将来像」と「地域」別とのクロス集計結果（順位）

回答項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
国際	15	16	21
文化・歴史	21	29	8
芸術	22	21	21
交流	23	13	12
環境	7	5	2
平和	12	9	21
風格	34	21	32
安全・安心	1	3	4
快適	9	8	8
活力	11	11	16
健康	7	4	5
福祉	2	2	1
創造	34	21	21
産業	6	9	11
循環	25	29	32
拠点	29	16	21
生活	4	7	5
人権	29	29	21
自治	38	21	32
自立	29	29	21
自然	3	1	3
個性	27	29	32
情報	29	21	32
防災	16	16	12
教育	10	29	8
学習	38	29	32
広域	29	21	32
助け合い	5	13	7
心・絆	13	29	21
共生	19	11	16
次代	18	16	12
戦略	27	29	16
連携	25	21	21
未来	19	16	16
協働	24	29	21
生涯	34	21	21
スポーツ	17	6	16
効率	34	29	32
魅力	13	13	12

- ・地域別にみると「安全・安心」が全ての地域で高い順位となっており、「福祉」、「自然」についても高い順位となっている。
- ・妙高地域では「文化・歴史」の順位が高い一方で、妙高高原地域では低くなっている。
- ・妙高高原地域では「スポーツ」の順位が高くなっている。また新井地域・妙高地域で「教育」の順位が高く、妙高高原地域では低くなっている。
- ・下位をみると「学習」、「効率」が全ての地域で低くなっている。

5. 妙高市の「まちづくりの満足度・重要度」についてお伺いします（問8）

※46の主要施策と18の基本施策の満足度・重要度を数値化して比較する。
 ※たいへん満足・たいへん重要が2点、まあ満足・ある程度重要が1点、どちらともいえないが0点、やや不満・あまり重要でないが-1点、たいへん不満・全く重要でないが-2点として計算。（無回答は除外）

（1）まちづくりの満足度について（主要施策別）

①主要施策別の満足度ランキング（上位）

順位	項目	満足度
1	ガス・水道の安定供給	0.69
2	健全な財政運営の推進	0.49
3	生活排水対策の推進	0.44
4	防犯・交通安全対策の推進	0.38
5	豊かな自然環境の保全と活用	0.37
6	防災体制の確立	0.34
7	幼児の教育・保育環境の充実	0.31
8	総合的な健康づくりの推進	0.31
9	子育て支援の充実	0.28
10	健やかな心と体の育成	0.25

- ・ 主要施策別の満足度の上位については「ガス・水道の安定供給」が最も満足度が高く、次いで「健全な財政運営の推進」、「生活排水対策の推進」、「防犯・交通安全対策の推進」、「豊かな自然環境の保全と活用」の順となっている。

②主要施策別の満足度ランキング（下位）

順位	項目	満足度
1	商業の振興とにぎわいの創出	-0.75
2	企業誘致の促進と市内企業の活性化	-0.67
3	雇用・労働環境の充実	-0.66
4	観光基盤の整備	-0.31
5	地域公共交通の維持	-0.29
6	観光客受入体制の充実	-0.25
7	並行在来線の維持と活用	-0.24
8	農山村の保全と活用	-0.21
9	生業として成り立つ農業経営の推進	-0.21
10	効果的な観光情報の発信	-0.18

- ・ 下位については「商業の振興とにぎわいの創出」が最も満足度が低く、次いで「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「雇用・労働環境の充実」、「観光基盤の整備」、「地域公共交通の維持」の順となっている。

③クロス集計（主要施策（満足度）×年代別）

■「主要施策（満足度）」×「年代」別のクロス集計結果（順位）

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位
四季を通じた観光誘客の推進	23	35	32	38	35	36	34
効果的な観光情報の発信	37	40	34	40	39	35	35
観光客受入体制の充実	33	40	41	38	40	41	38
観光基盤の整備	40	43	43	40	43	43	37
生業として成り立つ農業経営の推進	24	27	38	34	33	40	42
農山村の保全と活用	20	27	30	35	37	42	43
都市と農村の交流促進	25	20	39	35	33	37	41
企業誘致の促進と市内企業の活性化	43	44	44	44	44	46	45
商業の振興とにぎわいの創出	44	46	45	46	45	45	46
雇用・労働環境の充実	45	45	46	45	46	44	44
並行在来線の維持と活用	46	37	39	42	41	34	40
地域公共交通の維持	42	39	42	43	42	39	39
道路ネットワークの推進	38	8	16	29	32	21	32
移住・定住の推進	41	22	27	29	35	38	36
豊かな自然環境の保全と活用	1	1	2	6	7	7	18
資源循環のまちづくり	3	4	9	21	23	15	22
快適な生活環境の確保	26	4	7	10	29	28	12
良質な住環境づくり	21	3	16	15	26	13	10
克雪対策の推進	22	17	13	26	38	23	28
生活排水対策の推進	14	7	4	7	5	2	2
ガス・水道の安定供給	4	2	1	1	2	1	1
子育て支援の充実	9	12	15	2	16	8	16
幼児の教育・保育環境の充実	7	12	16	5	8	5	5
要保護児童等への適切な支援	10	27	22	21	16	9	21
健やかな心と体の育成	2	16	8	9	14	16	7
確かな学力の育成	11	35	23	27	21	26	20
学習環境の整備	16	27	19	19	18	24	14
総合的な健康づくりの推進	5	22	12	3	10	10	6
医療保険制度等の持続的運営	12	11	21	13	28	19	4
地域包括ケアシステムの充実	29	32	26	28	30	17	12
障がい者の社会参加促進	27	21	23	35	26	29	29
地域での助け合い、支え合いの推進	17	8	28	31	25	18	19
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	39	38	37	33	31	31	33
防災体制の確立	8	14	6	8	4	6	9
防犯・交通安全対策の推進	6	10	3	10	3	4	8
学びの環境づくり	30	17	14	13	10	12	15
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	18	15	11	18	10	20	26
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	28	22	9	12	5	14	11
芸術文化の振興	31	42	19	16	8	24	17
歴史資産の保護と活用	34	32	28	21	20	21	24
地域コミュニティの維持・再生	35	22	23	21	18	11	25
情報共有の推進	36	32	35	21	22	33	27
人権意識の向上	19	22	30	16	13	27	31
男女共同参画社会の実現	15	17	33	20	14	30	30
持続可能な行政経営の推進	32	31	35	32	23	32	23
健全な財政運営の推進	13	6	5	4	1	3	3

- ・年代別にみると「ガス・水道の安定供給」が全ての年代で高い順位となっている。
- ・10歳代では「健やかな心と体の育成」、10歳代～30歳代では「豊かな自然環境の保全と活用」、「資源循環のまちづくり」、40歳代では「子育て支援の充実」、「総合的な健康づくりの推進」、50歳代～70歳以上では「健全な財政運営の推進」の順位が他の年代と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「雇用・労働環境の充実」、「商業の振興とにぎわいの創出」が全ての年代で低くなっている。

④クロス集計（主要施策（満足度）×地域別）

■「主要施策（満足度）」×「地域」別のクロス集計結果（順位）

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
	順位	順位	順位
四季を通じた観光誘客の推進	35	41	27
効果的な観光情報の発信	37	37	34
観光客受入体制の充実	40	42	35
観光基盤の整備	43	40	42
生業として成り立つ農業経営の推進	41	34	37
農山村の保全と活用	39	35	40
都市と農村の交流促進	36	36	38
企業誘致の促進と市内企業の活性化	45	44	46
商業の振興とにぎわいの創出	46	45	45
雇用・労働環境の充実	44	46	44
並行在来線の維持と活用	38	43	39
地域公共交通の維持	42	38	42
道路ネットワークの推進	28	30	32
移住・定住の推進	34	39	41
豊かな自然環境の保全と活用	4	14	6
資源循環のまちづくり	11	15	24
快適な生活環境の確保	13	21	25
良質な住環境づくり	10	30	22
克雪対策の推進	31	26	18
生活排水対策の推進	3	11	2
ガス・水道の安定供給	1	1	1
子育て支援の充実	8	8	12
幼児の教育・保育環境の充実	6	9	9
要保護児童等への適切な支援	17	20	13
健やかな心と体の育成	12	5	9
確かな学力の育成	22	12	28
学習環境の整備	16	18	30
総合的な健康づくりの推進	9	6	3
医療保険制度等の持続的運営	19	7	15
地域包括ケアシステムの充実	27	22	19
障がい者の社会参加促進	32	30	30
地域での助け合い、支え合いの推進	25	12	16
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	33	33	36
防災体制の確立	7	4	5
防犯・交通安全対策の推進	5	3	4
学びの環境づくり	15	18	11
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	18	16	17
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	14	10	8
芸術文化の振興	21	22	14
歴史資産の保護と活用	23	29	21
地域コミュニティの維持・再生	20	25	20
情報共有の推進	29	27	33
人権意識の向上	24	17	23
男女共同参画社会の実現	26	24	25
持続可能な行政経営の推進	30	28	29
健全な財政運営の推進	2	2	7

- ・地域別にみると「ガス・水道の安定供給」、「防犯・交通安全対策の推進」が全ての地域で高い順位となっている。
- ・新井地域、妙高地域で「生活排水対策の推進」の順位が高い一方で、妙高高原地域では低くなっている。
- ・妙高高原地域では「総合的な健康づくりの推進」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「雇用・労働環境の充実」、「商業の振興とにぎわいの創出」が全ての地域で低くなっている。

(2) まちづくりの満足度について（基本施策別）

①基本施策別の満足度の比較



②基本施策別の満足度ランキング

順位	項目	満足度
1	自然環境との共生	0.37
2	安全・安心な暮らしの確保	0.36
3	便利で快適な都市環境づくり	0.35
4	効率的な行財政経営の確立	0.27
5	安心して子育てできる環境づくり	0.26
6	保健と医療の充実	0.25
7	生涯学習・スポーツの充実	0.21
8	循環型社会の推進	0.19
9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	0.19
10	安心して学べる環境整備	0.16
11	創造性豊かな文化のまちづくり	0.13
12	市民協働のまちづくり	0.10
13	高齢者・障がい者福祉の充実	0.07
14	支え合いの地域社会づくり	0.04
15	交流と暮らしを支える基盤づくり	-0.15
16	魅力ある農林業の振興	-0.20
17	地域資源を活かした観光産業の振興	-0.22
18	活力ある商工業等の振興	-0.69

- ・基本施策別の満足度の上位については「自然環境との共生」が最も満足度が高く、次いで「安全・安心な暮らしの確保」、「便利で快適な都市環境づくり」の順となっている。
- ・下位については「活力ある商工業等の振興」が最も満足度が低く、次いで「地域資源を活かした観光産業の振興」、「魅力ある農林業の振興」の順となっている。

③クロス集計（基本施策（満足度）×年代別）

■「基本施策（満足度）」×「年代」別のクロス集計結果（順位）

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位
地域資源を活かした観光産業の振興	16	17	17	17	17	16	15
魅力ある農林業の振興	10	10	16	16	15	17	17
活力ある商工業等の振興	18	18	18	18	18	18	18
交流と暮らしを支える基盤づくり	17	14	15	15	16	15	16
自然環境との共生	1	1	1	1	3	3	10
循環型社会の推進	6	2	4	7	12	11	9
便利で快適な都市環境づくり	7	3	3	3	10	1	1
安心して子育てできる環境づくり	5	6	9	4	5	4	5
豊かな人間性と生きる力を育む教育	2	12	6	9	9	8	6
安心して学べる環境整備	8	12	10	11	7	10	7
保健と医療の充実	4	7	6	2	11	6	2
高齢者・障がい者福祉の充実	14	15	12	14	14	12	12
支え合いの地域社会づくり	13	9	14	13	13	14	14
安全・安心な暮らしの確保	2	4	2	5	1	2	4
生涯学習・スポーツの充実	10	8	5	6	4	7	8
創造性豊かな文化のまちづくり	15	16	11	10	6	9	11
市民協働のまちづくり	12	11	13	12	7	13	13
効率的な行財政経営の確立	9	5	8	8	2	5	3

- ・年代別にみると「安全・安心な暮らしの確保」が全ての年代で高い順位となっている。
- ・10歳代では「豊かな人間性と生きる力を育む教育」の順位が他の年代と比べて高く、20歳代では「創造性豊かな文化のまちづくり」の順位が低くなっている。
- ・下位をみると「地域資源を活かした観光産業の振興」、「活力ある商工業等の振興」が全ての年代で低くなっている。

④クロス集計（基本施策（満足度）×地域別）

■「基本施策（満足度）」×「地域」別のクロス集計結果（順位）

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
	順位	順位	順位
地域資源を活かした観光産業の振興	16	17	15
魅力ある農林業の振興	17	15	16
活力ある商工業等の振興	18	18	18
交流と暮らしを支える基盤づくり	15	16	17
自然環境との共生	1	8	2
循環型社会の推進	6	10	13
便利で快適な都市環境づくり	2	4	4
安心して子育てできる環境づくり	5	6	6
豊かな人間性と生きる力を育む教育	10	5	9
安心して学べる環境整備	9	9	14
保健と医療の充実	7	3	3
高齢者・障がい者福祉の充実	13	13	10
支え合いの地域社会づくり	14	14	11
安全・安心な暮らしの確保	3	1	1
生涯学習・スポーツの充実	8	7	5
創造性豊かな文化のまちづくり	11	12	7
市民協働のまちづくり	12	11	12
効率的な行財政経営の確立	4	2	8

- ・地域別にみると「安全・安心な暮らしの確保」、「便利で快適な都市環境づくり」が全ての地域で高い順位となっている。
- ・新井地域、妙高地域で「自然環境との共生」の順位が高い一方で、妙高高原地域では低くなっている。
- ・新井地域では「保健と医療の充実」の順位が他の地域と比べて低くなっている。
- ・妙高高原地域では「豊かな人間性と生きる力を育む教育」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「活力ある商工業等の振興」が全ての地域で低くなっている。

(3) 今後のまちづくりの重要度について（主要施策別）

①主要施策別の重要度ランキング（値1.00以上掲載）

順位	項目	重要度
1	克雪対策の推進	1.41
2	雇用・労働環境の充実	1.36
3	企業誘致の促進と市内企業の活性化	1.23
4	医療保険制度等の持続的運営	1.21
5	防災体制の確立	1.16
6	商業の振興とにぎわいの創出	1.15
7	子育て支援の充実	1.14
8	効果的な観光情報の発信	1.10
9	快適な生活環境の確保	1.10
10	四季を通じた観光誘客の推進	1.09
11	ガス・水道の安定供給	1.08
12	観光基盤の整備	1.08
13	幼児の教育・保育環境の充実	1.07
14	防犯・交通安全対策の推進	1.07
15	総合的な健康づくりの推進	1.06
16	観光客受入体制の充実	1.04
17	確かな学力の育成	1.04
18	健全な財政運営の推進	1.04
19	良質な住環境づくり	1.03
20	健やかな心と体の育成	1.02
21	豊かな自然環境の保全と活用	1.01
22	地域での助け合い、支え合いの推進	1.01
23	学習環境の整備	1.00
24	生活排水対策の推進	1.00

- ・ 主要施策別の重要度の上位については「克雪対策の推進」が最も重要度が高く、次いで「雇用・労働環境の充実」、「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「医療保険制度等の持続的運営」、「防災体制の確立」の順となっている。

②クロス集計（主要施策（重要度）×年代別）

■「主要施策（重要度）」×「年代」別のクロス集計結果（順位）

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位
四季を通じた観光誘客の推進	17	22	3	14	12	16	21
効果的な観光情報の発信	12	18	6	7	8	11	24
観光客受入体制の充実	19	8	8	22	13	23	29
観光基盤の整備	7	18	11	21	6	18	20
生業として成り立つ農業経営の推進	43	24	29	31	29	36	35
農山村の保全と活用	37	22	35	36	35	40	37
都市と農村の交流促進	38	31	33	42	41	45	41
企業誘致の促進と市内企業の活性化	26	4	11	10	3	3	5
商業の振興とにぎわいの創出	20	1	7	20	4	7	14
雇用・労働環境の充実	8	1	1	1	2	1	2
並行在来線の維持と活用	30	20	27	16	7	30	30
地域公共交通の維持	41	24	25	10	10	29	19
道路ネットワークの推進	33	24	32	32	19	37	32
移住・定住の推進	25	32	24	33	30	33	26
豊かな自然環境の保全と活用	13	32	27	27	17	13	9
資源循環のまちづくり	31	29	37	28	36	32	25
快適な生活環境の確保	11	10	11	3	8	21	14
良質な住環境づくり	6	13	16	10	14	25	22
克雪対策の推進	2	3	2	2	1	2	1
生活排水対策の推進	23	40	22	24	31	12	8
ガス・水道の安定供給	14	38	17	6	15	14	4
子育て支援の充実	1	8	4	9	16	6	14
幼児の教育・保育環境の充実	15	11	4	15	27	9	18
要保護児童等への適切な支援	16	17	9	29	24	22	26
健やかな心と体の育成	3	11	17	23	32	17	11
確かな学力の育成	9	5	17	16	26	20	12
学習環境の整備	10	16	17	16	23	24	26
総合的な健康づくりの推進	21	13	30	16	19	10	6
医療保険制度等の持続的運営	22	6	15	7	5	4	3
地域包括ケアシステムの充実	28	35	33	30	21	27	31
障がい者の社会参加促進	24	20	26	36	28	26	34
地域での助け合い、支え合いの推進	27	24	21	25	17	15	17
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	29	30	40	35	34	31	33
防災体制の確立	5	7	14	4	11	5	7
防犯・交通安全対策の推進	4	13	10	10	22	19	10
学びの環境づくり	18	38	37	33	37	34	36
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	32	35	42	39	41	35	39
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	39	40	39	36	40	46	40
芸術文化の振興	46	46	45	44	46	42	45
歴史資産の保護と活用	44	44	44	45	45	39	42
地域コミュニティの維持・再生	45	44	43	41	38	37	37
情報共有の推進	42	40	45	43	44	43	46
人権意識の向上	36	40	36	40	41	44	44
男女共同参画社会の実現	35	35	40	45	39	41	43
持続可能な行政経営の推進	40	32	31	26	33	28	23
健全な財政運営の推進	34	24	23	5	24	8	13

- ・年代別にみると「克雪対策の推進」が全ての年代で高い順位となっている。
- ・10歳代では「子育て支援の充実」、「健やかな心と体の育成」、20歳代、50歳代では「商業の振興とにぎわいの創出」、30歳代では「四季を通じた観光誘客の推進」、40歳代では「快適な生活環境の確保」、50歳代～70歳以上では「企業誘致の促進と市内企業の活性化」、「医療保険制度等の持続的運営」の順位が他の年代と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「芸術文化の振興」、「歴史資産の保護と活用」が全ての年代で低くなっている。

③クロス集計（主要施策（重要度）×地域別）

■「主要施策（重要度）」×「地域」別のクロス集計結果（順位）

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
	順位	順位	順位
四季を通じた観光誘客の推進	14	3	6
効果的な観光情報の発信	10	6	6
観光客受入体制の充実	21	13	14
観光基盤の整備	13	4	23
生業として成り立つ農業経営の推進	33	37	43
農山村の保全と活用	36	40	45
都市と農村の交流促進	38	44	46
企業誘致の促進と市内企業の活性化	3	26	11
商業の振興とにぎわいの創出	4	28	20
雇用・労働環境の充実	2	11	2
並行在来線の維持と活用	24	29	26
地域公共交通の維持	20	23	30
道路ネットワークの推進	31	32	36
移住・定住の推進	32	33	27
豊かな自然環境の保全と活用	27	8	11
資源循環のまちづくり	34	25	30
快適な生活環境の確保	9	2	17
良質な住環境づくり	19	15	23
克雪対策の推進	1	1	1
生活排水対策の推進	26	12	23
ガス・水道の安定供給	12	4	20
子育て支援の充実	6	14	10
幼児の教育・保育環境の充実	8	19	14
要保護児童等への適切な支援	25	21	19
健やかな心と体の育成	23	17	6
確かな学力の育成	15	20	9
学習環境の整備	22	24	20
総合的な健康づくりの推進	17	10	5
医療保険制度等の持続的運営	5	7	3
地域包括ケアシステムの充実	30	26	27
障がい者の社会参加促進	29	33	35
地域での助け合い、支え合いの推進	18	22	18
生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	35	30	36
防災体制の確立	7	8	4
防犯・交通安全対策の推進	11	16	11
学びの環境づくり	37	35	32
豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	39	35	34
生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	41	43	36
芸術文化の振興	46	46	39
歴史資産の保護と活用	45	45	33
地域コミュニティの維持・再生	40	38	42
情報共有の推進	44	39	44
人権意識の向上	42	41	40
男女共同参画社会の実現	43	41	40
持続可能な行政経営の推進	28	30	29
健全な財政運営の推進	16	17	16

- ・地域別にみると「克雪対策の推進」が全ての地域で高い順位となっている。
- ・新井地域、妙高地域で「雇用・労働環境の充実」の順位が高い一方で、妙高高原地域では他の地域と比べて低くなっている。
- ・新井地域では「企業誘致の促進と市内企業の活性化」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・妙高高原地域では「快適な生活環境の確保」、「四季を通じた観光誘客の推進」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると、新井地域、妙高高原地域では「芸術文化の振興」、「歴史資産の保護と活用」の順位が低くなっており、妙高地域では「都市と農村の交流促進」、「農山村の保全と活用」が低くなっている。

(4) 今後のまちづくりの重要度について（基本施策別）

①基本施策別の重要度の比較



②基本施策別の重要度ランキング

順位	項目	重要度
1	活力ある商工業等の振興	1.25
2	保健と医療の充実	1.14
3	便利で快適な都市環境づくり	1.13
4	安全・安心な暮らしの確保	1.11
5	地域資源を活かした観光産業の振興	1.08
6	安心して子育てできる環境づくり	1.07
7	豊かな人間性と生きる力を育む教育	1.03
8	自然環境との共生	1.01
9	安心して学べる環境整備	1.00
10	循環型社会の推進	0.97
11	効率的な行財政経営の確立	0.97
12	交流と暮らしを支える基盤づくり	0.92
13	支え合いの地域社会づくり	0.91
14	高齢者・障がい者福祉の充実	0.88
15	魅力ある農林業の振興	0.71
16	生涯学習・スポーツの充実	0.67
17	市民協働のまちづくり	0.60
18	創造性豊かな文化のまちづくり	0.53

- ・基本施策別の重要度の上位については「活力ある商工業等の振興」が最も重要度が高く、次いで「保険と医療の充実」、「便利で快適な都市環境づくり」の順となっている。
- ・下位については「創造性豊かな文化のまちづくり」が最も重要度が低く、次いで「市民協働のまちづくり」、「生涯学習・スポーツの充実」の順となっている。

③クロス集計（基本施策（重要度）×年代別）

■「基本施策（重要度）」×「年代」別のクロス集計結果（順位）

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位
地域資源を活かした観光産業の振興	6	7	3	5	2	7	10
魅力ある農林業の振興	16	11	15	15	15	16	15
活力ある商工業等の振興	7	1	1	1	1	1	3
交流と暮らしを支える基盤づくり	14	10	10	12	6	14	12
自然環境との共生	8	15	12	11	7	6	5
循環型社会の推進	9	8	9	5	10	13	8
便利で快適な都市環境づくり	4	9	5	3	3	4	1
安心して子育てできる環境づくり	3	5	1	9	9	5	9
豊かな人間性と生きる力を育む教育	2	2	6	10	13	8	6
安心して学べる環境整備	4	6	6	7	8	10	11
保健と医療の充実	9	3	8	4	4	2	2
高齢者・障がい者福祉の充実	11	12	13	14	11	12	14
支え合いの地域社会づくり	12	12	14	13	12	11	13
安全・安心な暮らしの確保	1	4	4	2	5	3	4
生涯学習・スポーツの充実	13	16	16	16	16	15	16
創造性豊かな文化のまちづくり	18	18	18	18	18	17	18
市民協働のまちづくり	17	17	17	17	17	18	17
効率的な行財政経営の確立	15	14	11	8	13	9	7

- ・年代別にみると「活力ある商工業等の振興」が10歳代以外の年代で高い順位となっている。
- ・10歳代、20歳代では「豊かな人間性と生きる力を育む教育」、30歳代では「安心して子育てできる環境づくり」の順位が他の年代と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「創造性豊かな文化のまちづくり」、「市民協働のまちづくり」が全ての年代で低くなっている。

④クロス集計（基本施策（重要度）×地域別）

■「基本施策（重要度）」×「地域」別のクロス集計結果（順位）

項目	新井地域	妙高高原地域	妙高地域
	順位	順位	順位
地域資源を活かした観光産業の振興	6	2	7
魅力ある農林業の振興	15	17	18
活力ある商工業等の振興	1	9	2
交流と暮らしを支える基盤づくり	12	13	13
自然環境との共生	9	3	6
循環型社会の推進	11	6	11
便利で快適な都市環境づくり	3	1	5
安心して子育てできる環境づくり	5	7	8
豊かな人間性と生きる力を育む教育	7	8	4
安心して学べる環境整備	8	11	9
保健と医療の充実	2	4	1
高齢者・障がい者福祉の充実	14	14	14
支え合いの地域社会づくり	13	12	12
安全・安心な暮らしの確保	4	5	3
生涯学習・スポーツの充実	16	15	15
創造性豊かな文化のまちづくり	18	18	16
市民協働のまちづくり	17	16	17
効率的な行財政経営の確立	10	10	10

- ・地域別にみると、新井地域、妙高地域で「活力ある商工業等の振興」の順位が高い一方で、妙高高原地域では他の地域と比べて低くなっている。
- ・妙高高原地域では「地域資源を活かした観光産業の振興」の順位が他の地域と比べて高くなっている。
- ・下位をみると「創造性豊かな文化のまちづくり」、「市民協働のまちづくり」が全ての地域で低くなっている。

(5) 満足度と重要度の一覧表

①主要施策別

項目	満足度		重要度	
	平均値	順位	平均値	順位
1 四季を通じた観光誘客の推進	-0.13	35	1.09	10
2 効果的な観光情報の発信	-0.18	37	1.10	8
3 観光客受入体制の充実	-0.25	41	1.04	16
4 観光基盤の整備	-0.31	43	1.08	12
5 生業として成り立つ農業経営の推進	-0.21	38	0.80	35
6 農山村の保全と活用	-0.21	39	0.71	37
7 都市と農村の交流促進	-0.17	36	0.62	40
8 企業誘致の促進と市内企業の活性化	-0.67	45	1.23	3
9 商業の振興とにぎわいの創出	-0.75	46	1.15	6
10 雇用・労働環境の充実	-0.66	44	1.36	2
11 並行在来線の維持と活用	-0.24	40	0.97	27
12 地域公共交通の維持	-0.29	42	0.99	25
13 道路ネットワークの推進	0.06	29	0.84	33
14 移住・定住の推進	-0.13	34	0.86	31
15 豊かな自然環境の保全と活用	0.37	5	1.01	21
16 資源循環のまちづくり	0.21	13	0.85	32
17 快適な生活環境の確保	0.18	18	1.10	9
18 良質な住環境づくり	0.20	14	1.03	19
19 克雪対策の推進	0.07	28	1.41	1
20 生活排水対策の推進	0.44	3	1.00	24
21 ガス・水道の安定供給	0.69	1	1.08	11
22 子育て支援の充実	0.28	9	1.14	7
23 幼児の教育・保育環境の充実	0.31	7	1.07	13
24 要保護児童等への適切な支援	0.19	15	0.99	26
25 健やかな心と体の育成	0.25	10	1.02	20
26 確かな学力の育成	0.13	22	1.04	17
27 学習環境の整備	0.16	19	1.00	23
28 総合的な健康づくりの推進	0.31	8	1.06	15
29 医療保険制度等の持続的運営	0.19	16	1.21	4
30 地域包括ケアシステムの充実	0.11	26	0.89	29
31 障がい者の社会参加促進	0.04	32	0.87	30
32 地域での助け合い、支え合いの推進	0.13	23	1.01	22
33 生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進	-0.04	33	0.81	34
34 防災体制の確立	0.34	6	1.16	5
35 防犯・交通安全対策の推進	0.38	4	1.07	14
36 学びの環境づくり	0.21	12	0.73	36
37 豊かな心の育成と市民主体の地域づくり	0.18	17	0.67	38
38 生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興	0.23	11	0.61	41
39 芸術文化の振興	0.15	21	0.51	46
40 歴史資産の保護と活用	0.11	25	0.55	44
41 地域コミュニティの維持・再生	0.15	20	0.63	39
42 情報共有の推進	0.06	30	0.55	45
43 人権意識の向上	0.12	24	0.60	42
44 男女共同参画社会の実現	0.10	27	0.60	43
45 持続可能な行政経営の推進	0.05	31	0.90	28
46 健全な財政運営の推進	0.49	2	1.04	18

②基本施策別

項目		満足度		重要度	
		平均値	順位	平均値	順位
1	地域資源を活かした観光産業の振興	-0.22	17	1.08	5
2	魅力ある農林業の振興	-0.20	16	0.71	15
3	活力ある商工業等の振興	-0.69	18	1.25	1
4	交流と暮らしを支える基盤づくり	-0.15	15	0.92	12
5	自然環境との共生	0.37	1	1.01	8
6	循環型社会の推進	0.19	8	0.97	10
7	便利で快適な都市環境づくり	0.35	3	1.13	3
8	安心して子育てできる環境づくり	0.26	5	1.07	6
9	豊かな人間性と生きる力を育む教育	0.19	9	1.03	7
10	安心して学べる環境整備	0.16	10	1.00	9
11	保健と医療の充実	0.25	6	1.14	2
12	高齢者・障がい者福祉の充実	0.07	13	0.88	14
13	支え合いの地域社会づくり	0.04	14	0.91	13
14	安全・安心な暮らしの確保	0.36	2	1.11	4
15	生涯学習・スポーツの充実	0.21	7	0.67	16
16	創造性豊かな文化のまちづくり	0.13	11	0.53	18
17	市民協働のまちづくり	0.10	12	0.60	17
18	効率的な行財政経営の確立	0.27	4	0.97	11